

えひめ人口減少対策重点戦略 (資料編)

記者配布資料

目次

1 人口の推移	1	出生構成割合と
2 将来の愛媛		1 婚姻件数当たりの出生数
将来推計人口（従来推計との比較）	2	世代別未婚率・合計特殊出生率
将来推計人口（年代別）	3	転出超過の分析
将来推計人口（地域別）	4	4 結婚の希望等に関する調査
将来推計人口（人口ピラミッド）	5～6	5 育児等に関する調査
3 人口減少の現状		6 就職・Uターンの希望等に関する調査
自然減・社会減の現状	7	7 Uターン等に関する調査
出生数と婚姻件数の推移	8～12	8 移住等に関する調査
		9 人口減少の要因分析に関する調査概要

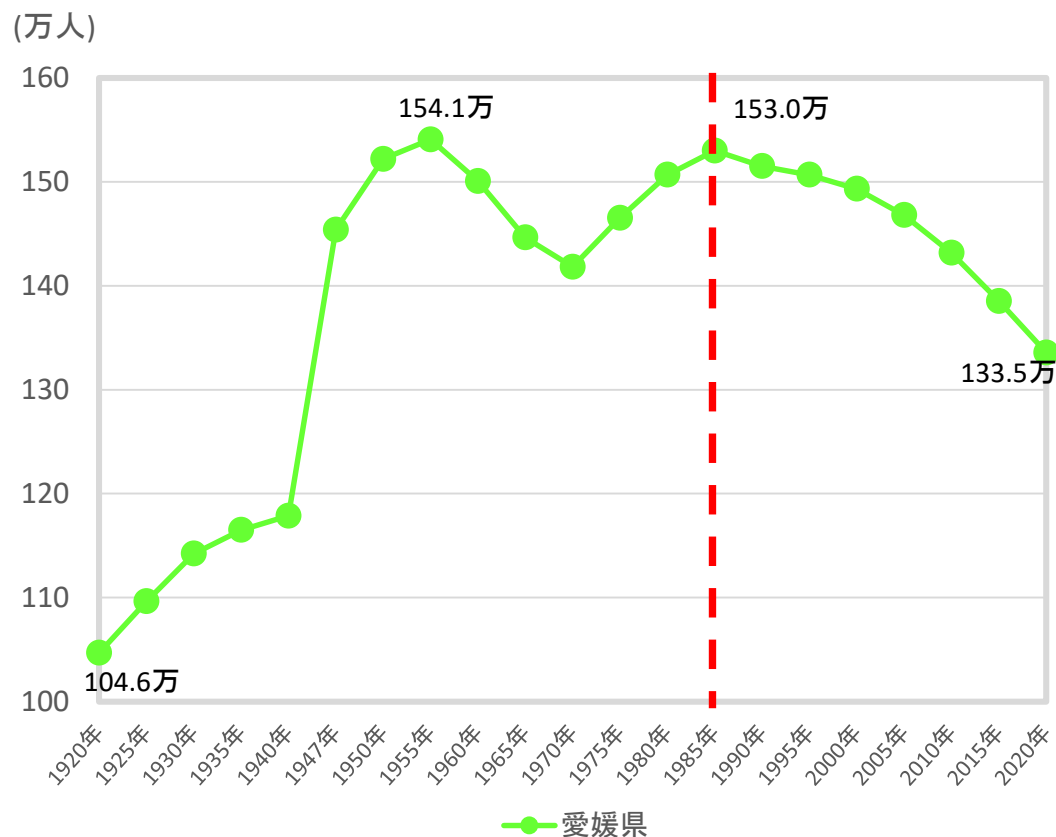
2022年10月28日
愛媛県

企画振興部 総合政策課
(連絡先 089-912-2233)

1. 人口の推移

- 1985年を境に、人口が減少
- **今年度中に130万人を下回る可能性**

愛媛県の人口の推移



期間中に起こった主な出来事

期 間	内 容
1941～45年 (昭和16～20年)	太平洋戦争
1947～49年 (昭和22～24年)	第一次ベビーブーム
1954～73年 (昭和29～48年)	高度成長期
1971～74年 (昭和46～49年)	第二次ベビーブーム
1973～91年 (昭和48～平成3年)	安定成長期
1991～93年 (平成3～5年)	バブル崩壊
2011年 (平成23年)	東日本大震災
2020年～ (令和2年～)	新型コロナ 1

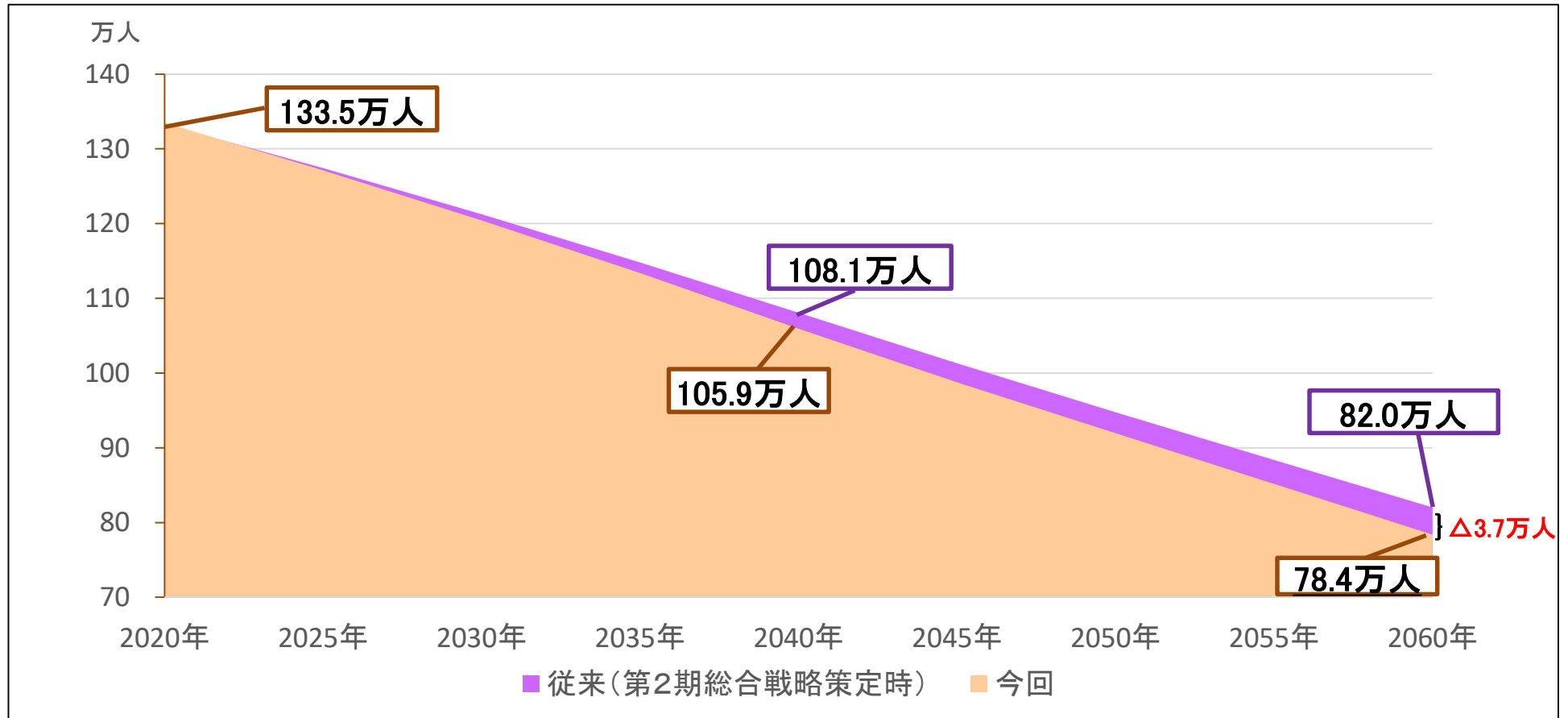
2. 将来の愛媛

○将来推計人口

2060年:78.4万人

(従来推計との比較)

コロナの影響により、従来の推計人口より、3.7万人の減



※今回の将来推計人口は、このまま新たな取組みをしなかった場合の推計であることに留意

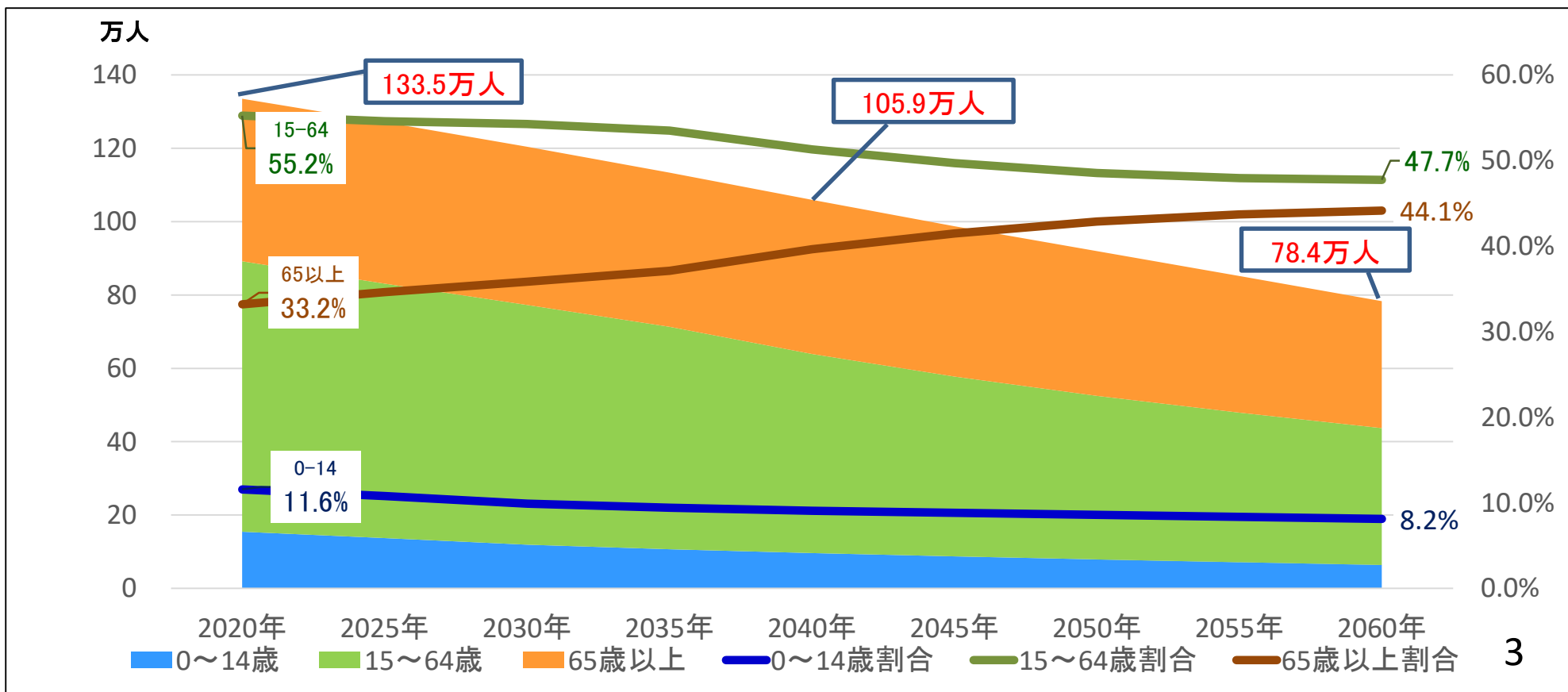
2. 将来の愛媛

○将来推計人口(年代別)

0～14歳 6割減少
15～64歳 5割減少

	2020年	2040年	2060年	減少率 2020 → 2060
65歳以上	44.3万人	42.0万人	34.6万人	△22.0%
15～64歳	73.7万人	54.3万人	37.4万人	△49.3%
0～14歳	15.4万人	9.6万人	6.4万人	△58.5%
計	133.5万人	105.9万人	78.4万人	△41.3%

※減少率は1人単位の数値で計算



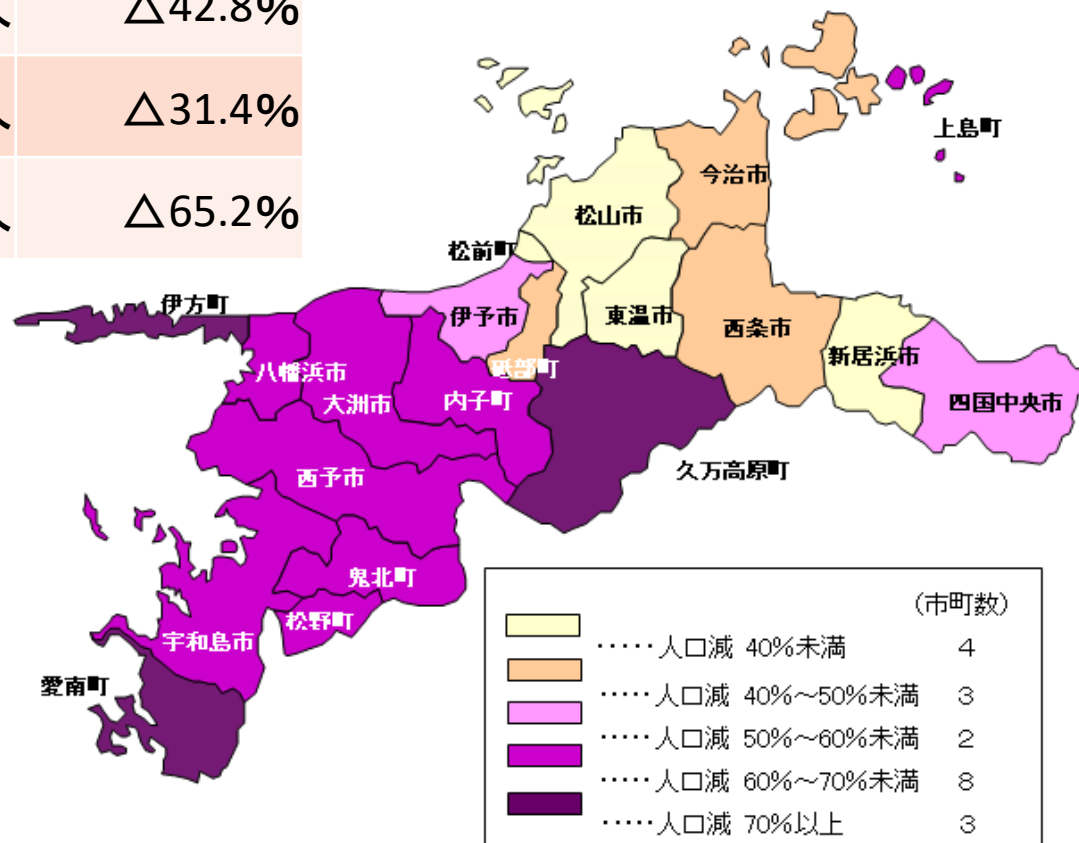
2. 将来の愛媛

○将来推計人口(地域別)

	2020年	2040年	2060年	減少率 2020 → 2060
愛媛県	133.5万人	105.9万人	78.4万人	△41.3%
東予	46.2万人	36.2万人	26.4万人	△42.8%
中予	63.8万人	55.0万人	43.7万人	△31.4%
南予	23.5万人	14.7万人	8.2万人	△65.2%

※減少率は1人単位の数値で計算

- ・南予
 - ・中山間地域
 - ・半島部
- での減少が顕著

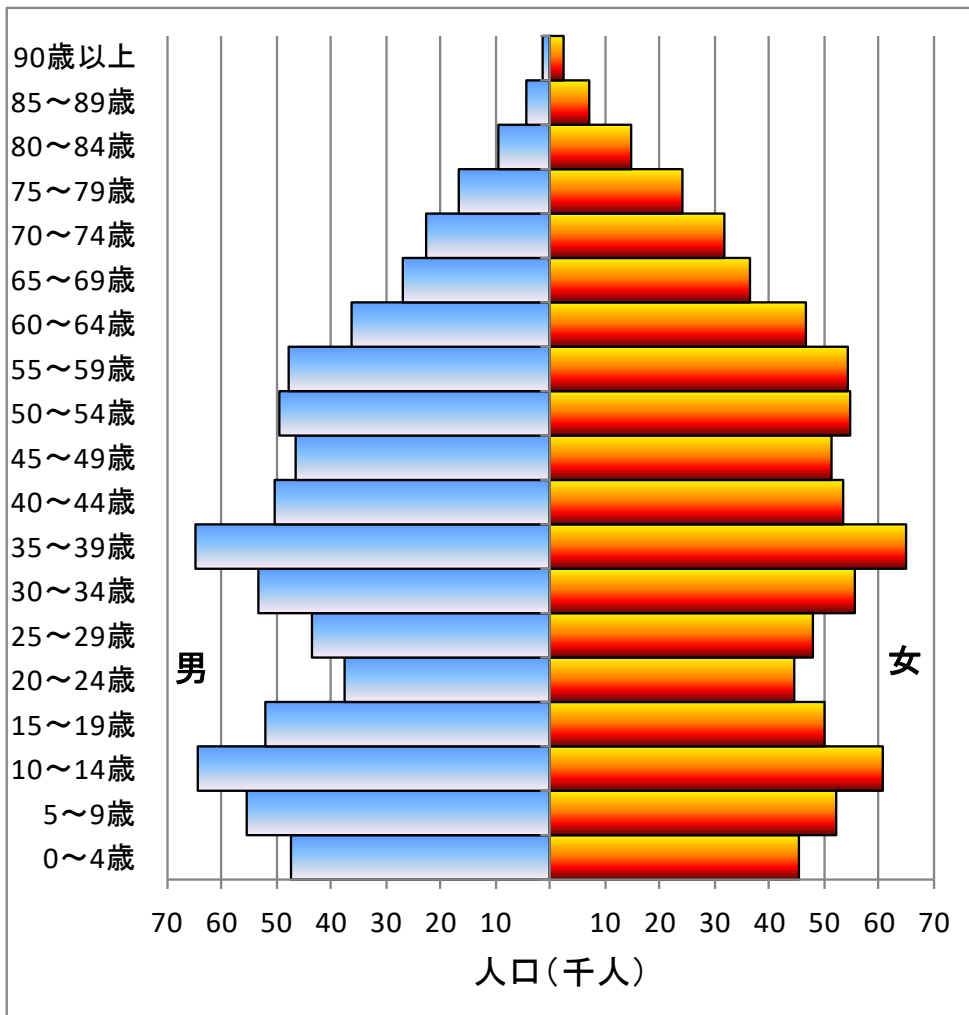


2. 将来の愛媛

○人口ピラミッド

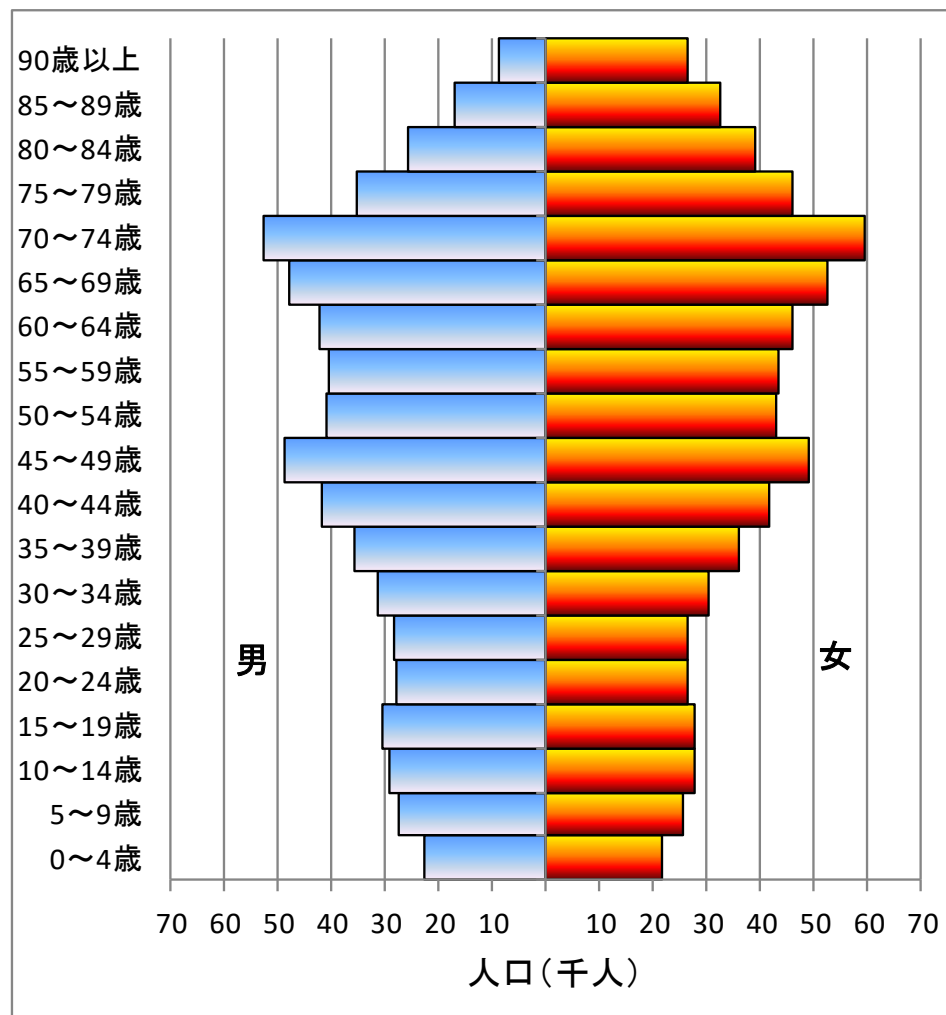
【1985年】

※年齢不詳は除く。



【2020年】

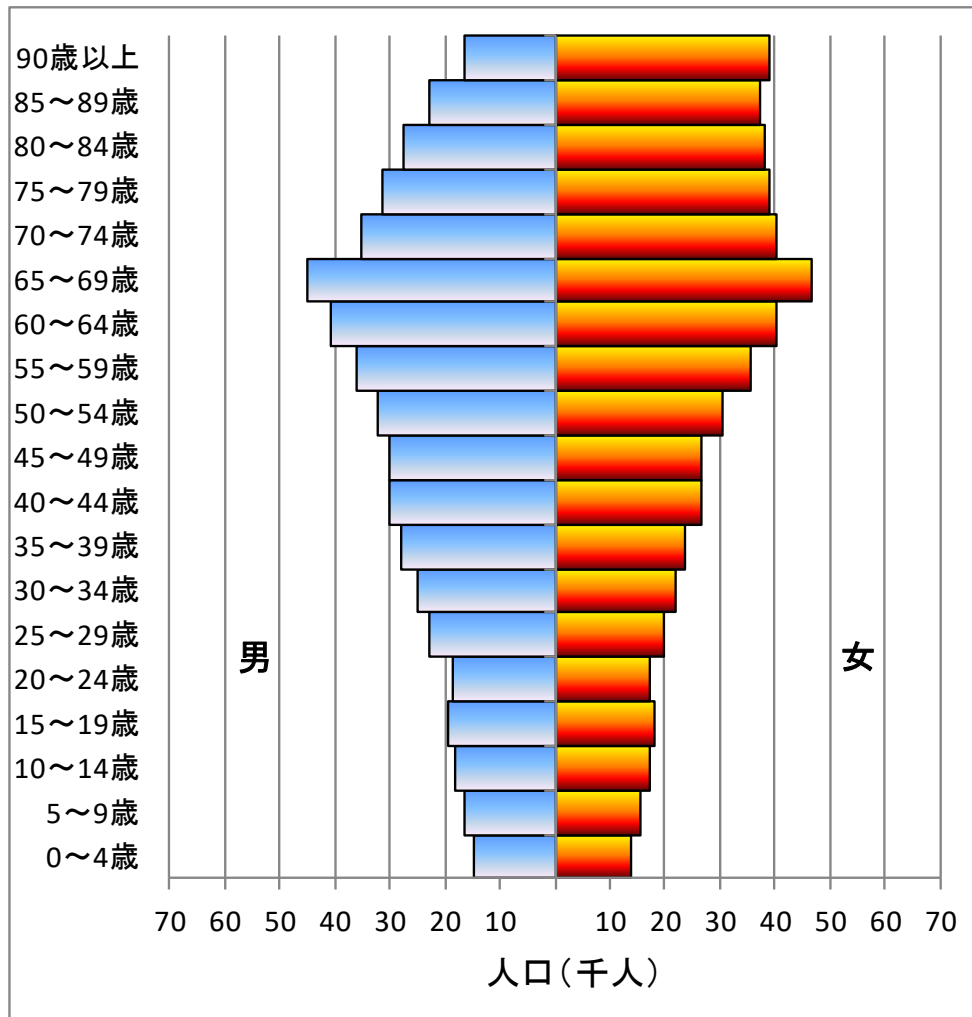
※不詳補完値による。



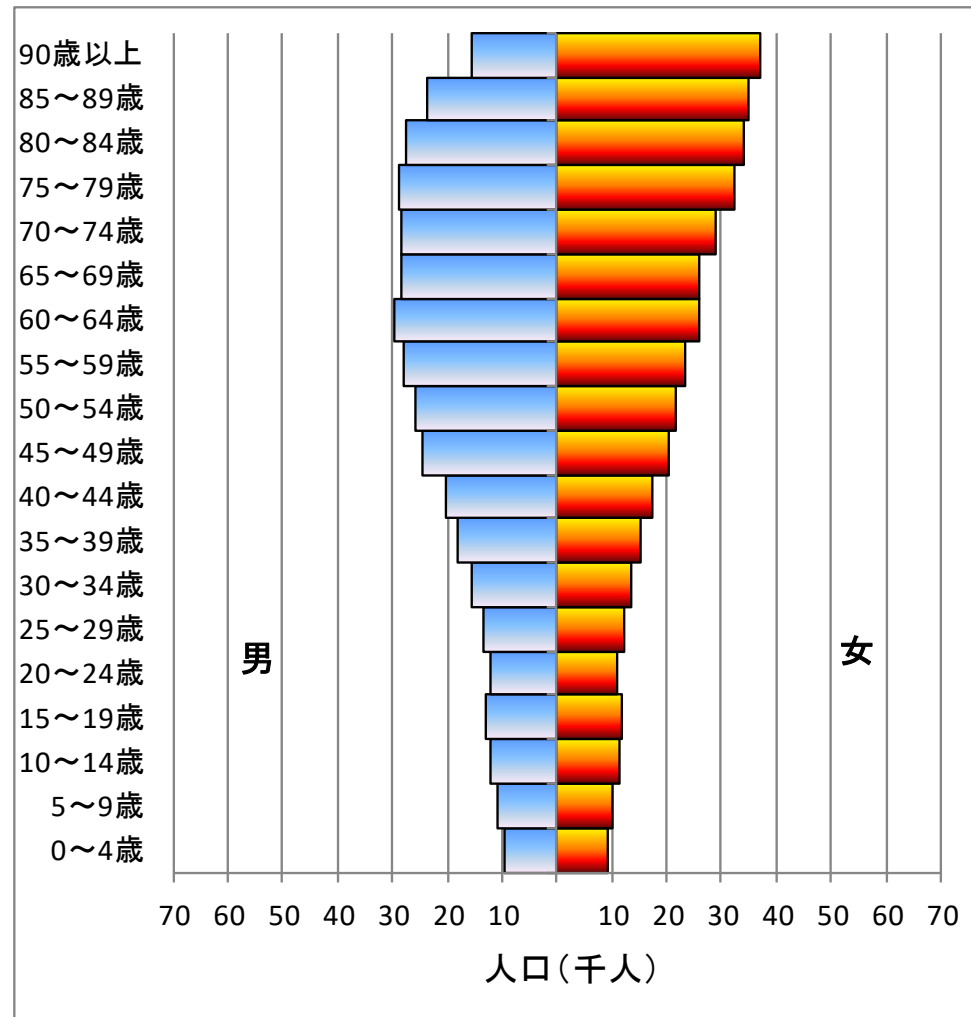
2. 将来の愛媛

○人口ピラミッド

【2040年】

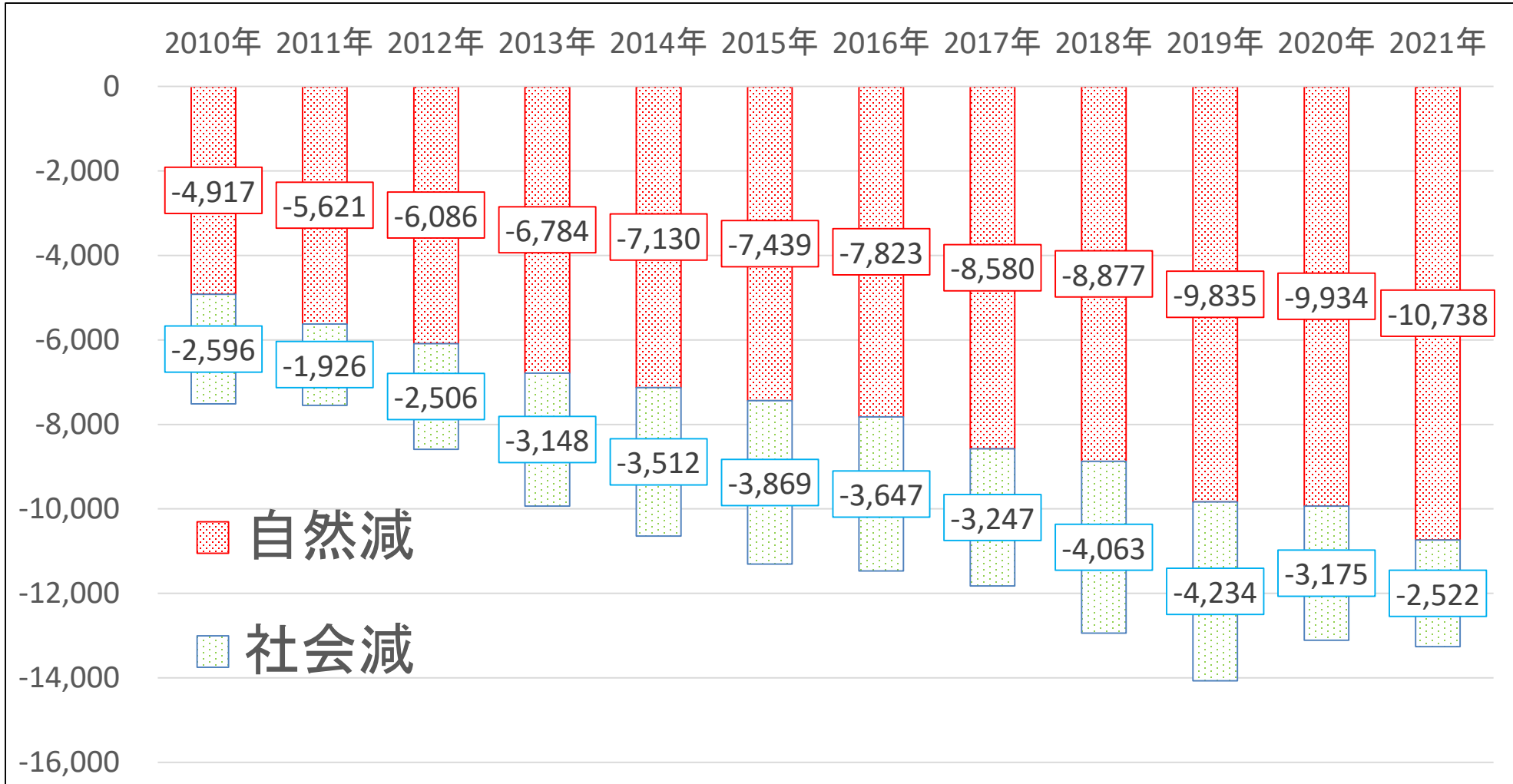


【2060年】



3. 人口減少の現状

自然減・社会減をあわせて、毎年1万人以上の人口が減少

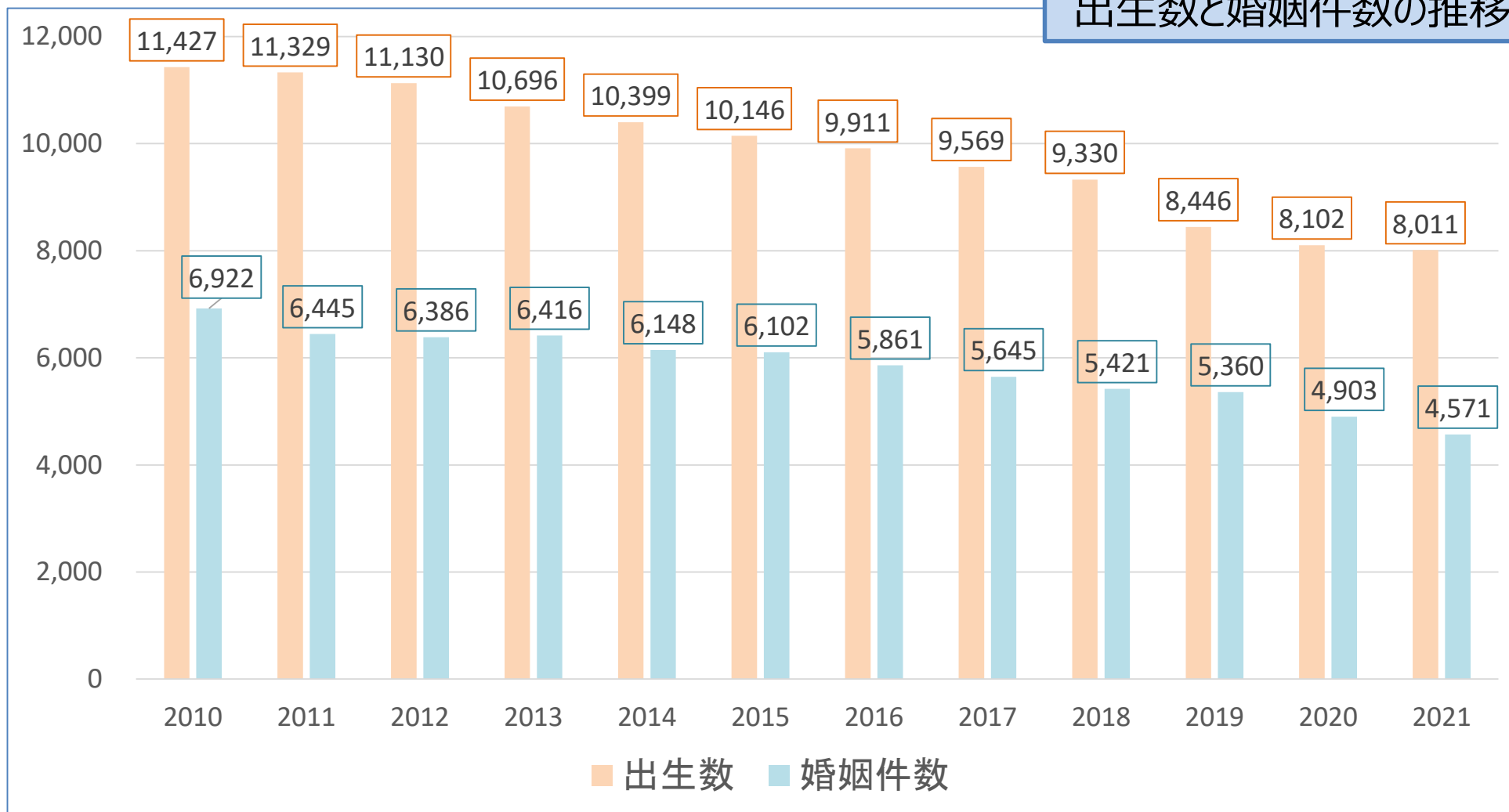


出典 人口動態統計、住民基本台帳人口移動報告（日本人のみ抽出）

3. 人口減少の現状

出生数も婚姻件数も大きく減少 おおよそ10年間で3割減

出生数と婚姻件数の推移

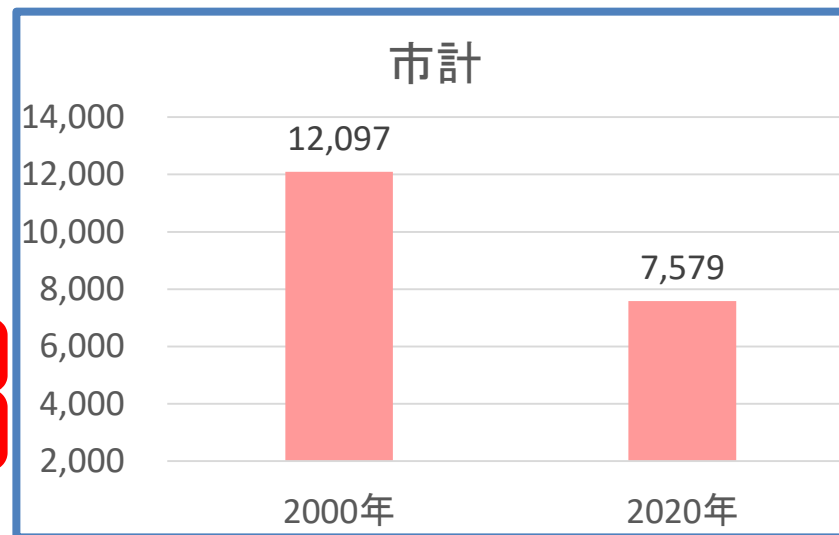


出典 人口動態統計

3. 人口減少の現状

○出生数の推移(市)

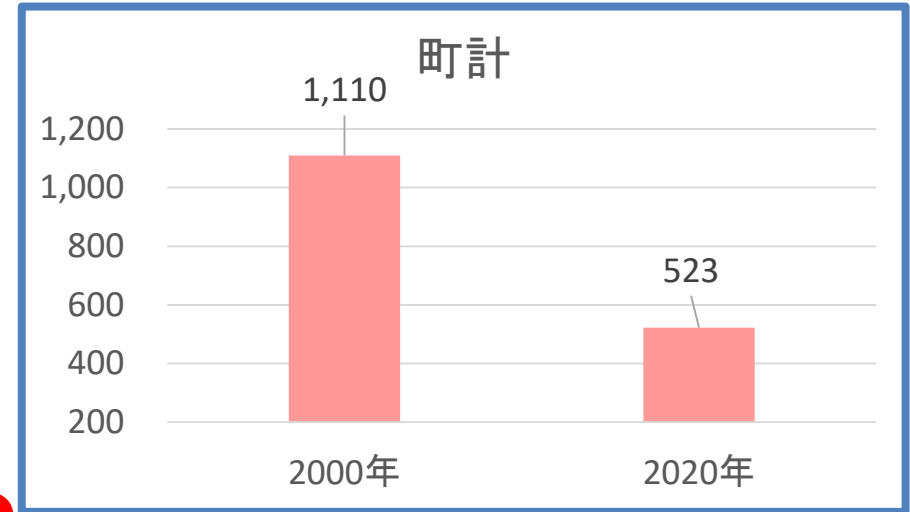
	2000年	2020年	減少率
愛媛県	13,207	8,102	-38.65%
松山市	4,923	3,437	-30.18%
今治市	1,526	838	-45.09%
宇和島市	751	344	-54.19%
八幡浜市	316	148	-53.16%
新居浜市	1,217	776	-36.24%
西条市	1,074	697	-35.10%
大洲市	474	235	-50.42%
伊予市	323	179	-44.58%
四国中央市	896	558	-37.72%
西予市	320	175	-45.31%
東温市	277	192	-30.69%
市計	12,097	7,579	-37.35%



3. 人口減少の現状

○出生数の推移(町)

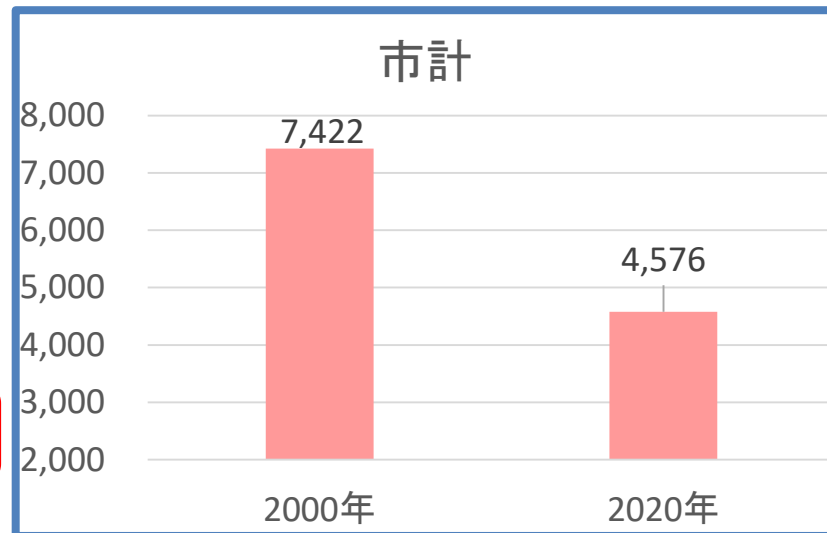
	2000年	2020年	減少率
上島町	47	19	-59.57%
久万高原町	70	23	-67.14%
松前町	255	187	-26.67%
砥部町	147	91	-38.10%
内子町	146	79	-45.89%
伊方町	86	20	-76.74%
松野町	34	13	-61.76%
鬼北町	98	30	-69.39%
愛南町	227	61	-73.13%
町計	1,110	523	-52.88%



3. 人口減少の現状

○婚姻件数の推移(市)

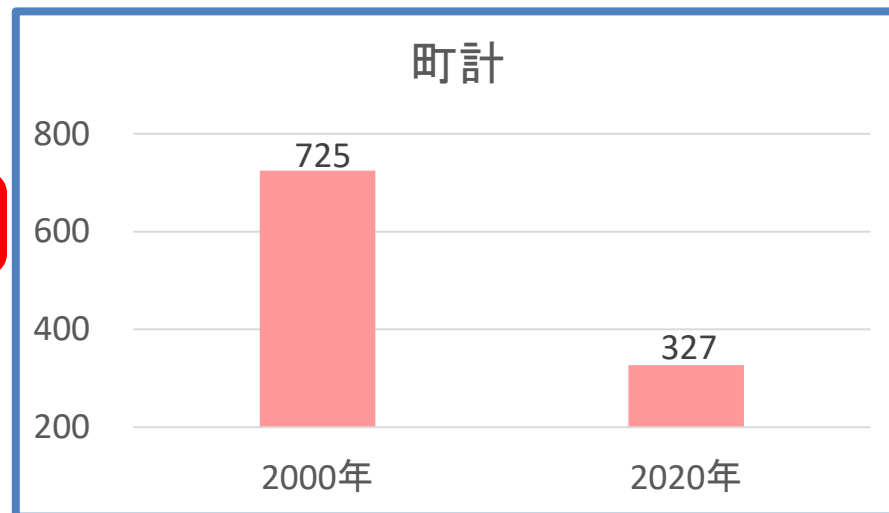
	2000年	2020年	減少率
愛媛県	8,147	4,903	-39.82%
松山市	3,213	2,183	-32.06%
今治市	925	486	-47.46%
宇和島市	401	232	-42.14%
八幡浜市	181	87	-51.93%
新居浜市	701	494	-29.53%
西条市	677	387	-42.84%
大洲市	261	141	-45.98%
伊予市	211	95	-54.98%
四国中央市	509	300	-41.06%
西予市	172	79	-54.07%
東温市	171	92	-46.20%
市計	7,422	4,576	-38.35%



3. 人口減少の現状

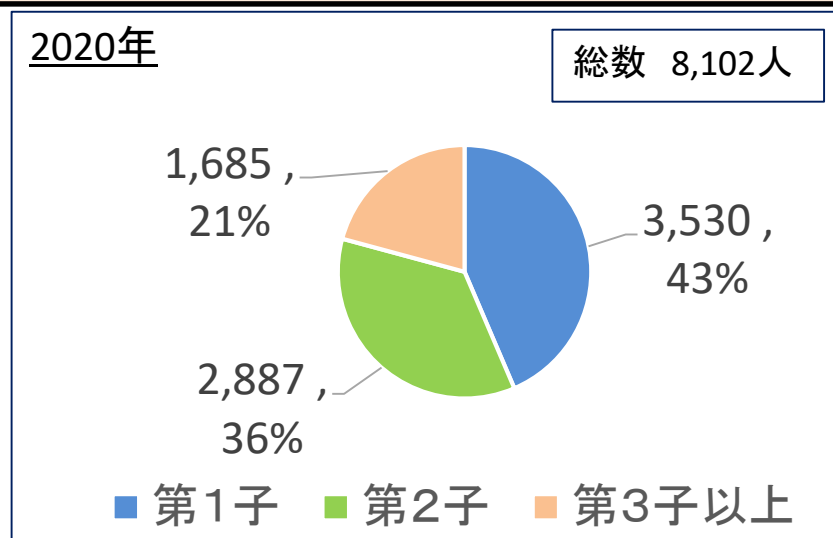
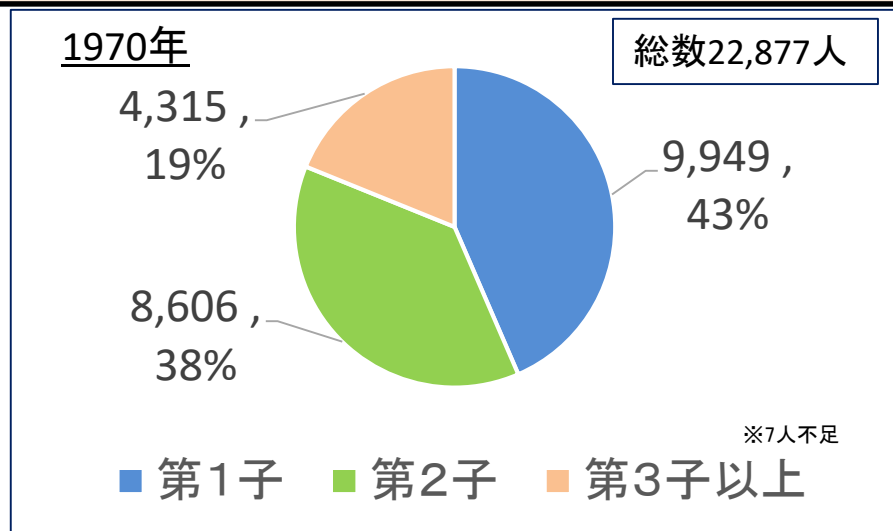
○婚姻件数の推移(町)

	2000年	2020年	減少率
上島町	21	14	-33.33%
久万高原町	58	22	-62.07%
松前町	172	100	-41.86%
砥部町	113	53	-53.10%
内子町	100	41	-59.00%
伊方町	53	25	-52.83%
松野町	23	2	-91.30%
鬼北町	56	22	-60.71%
愛南町	129	48	-62.79%
町計	725	327	-54.90%

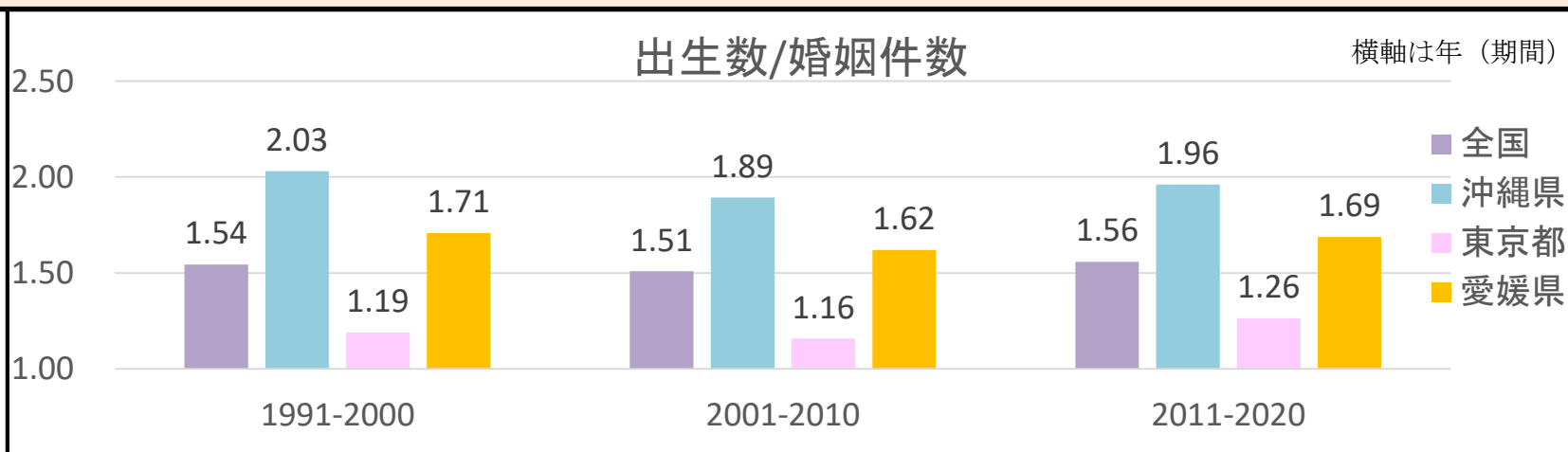


3. 人口減少の現状

出生構成割合 50年間でほぼ変化していない



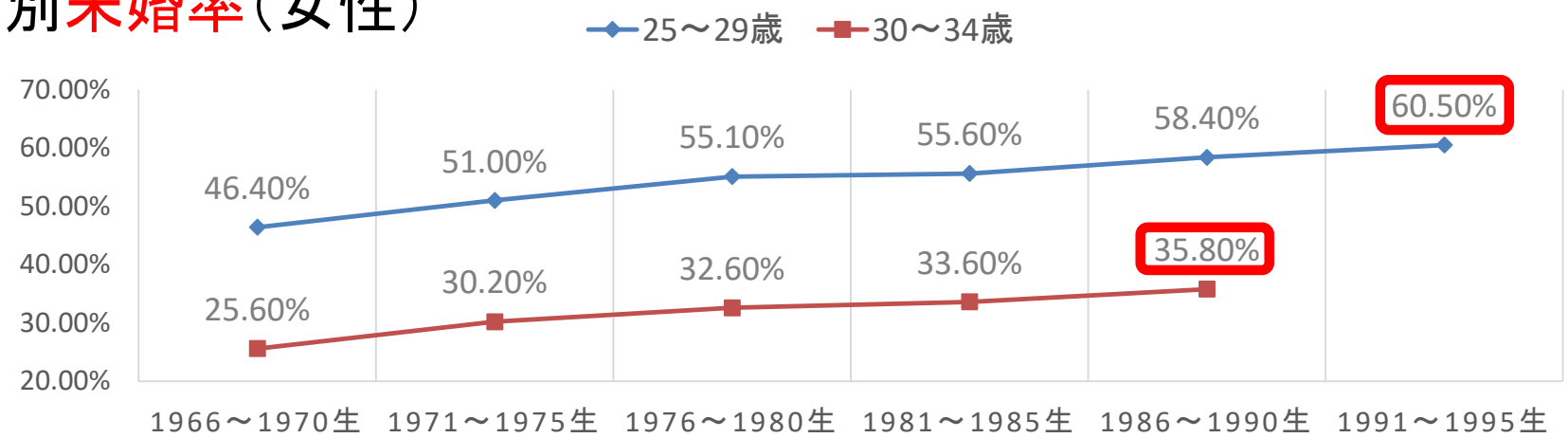
1婚姻件数当たりの出生数 微増



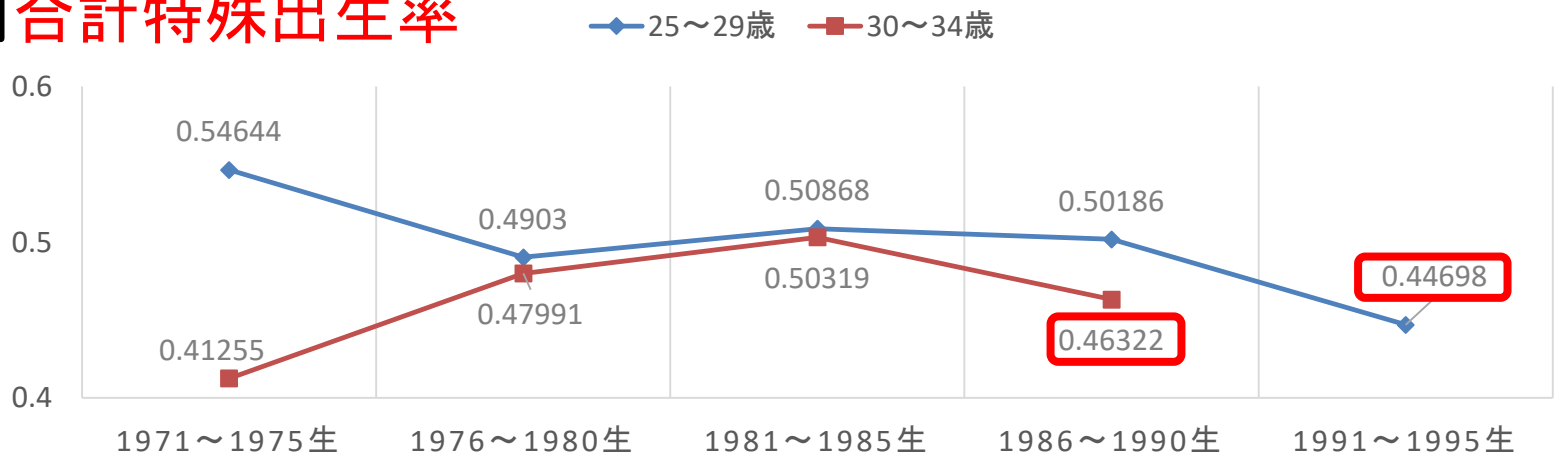
3. 人口減少の現状

若年層での未婚率が年々高まり、出生率は低下傾向

○世代別未婚率(女性)



○世代別合計特殊出生率

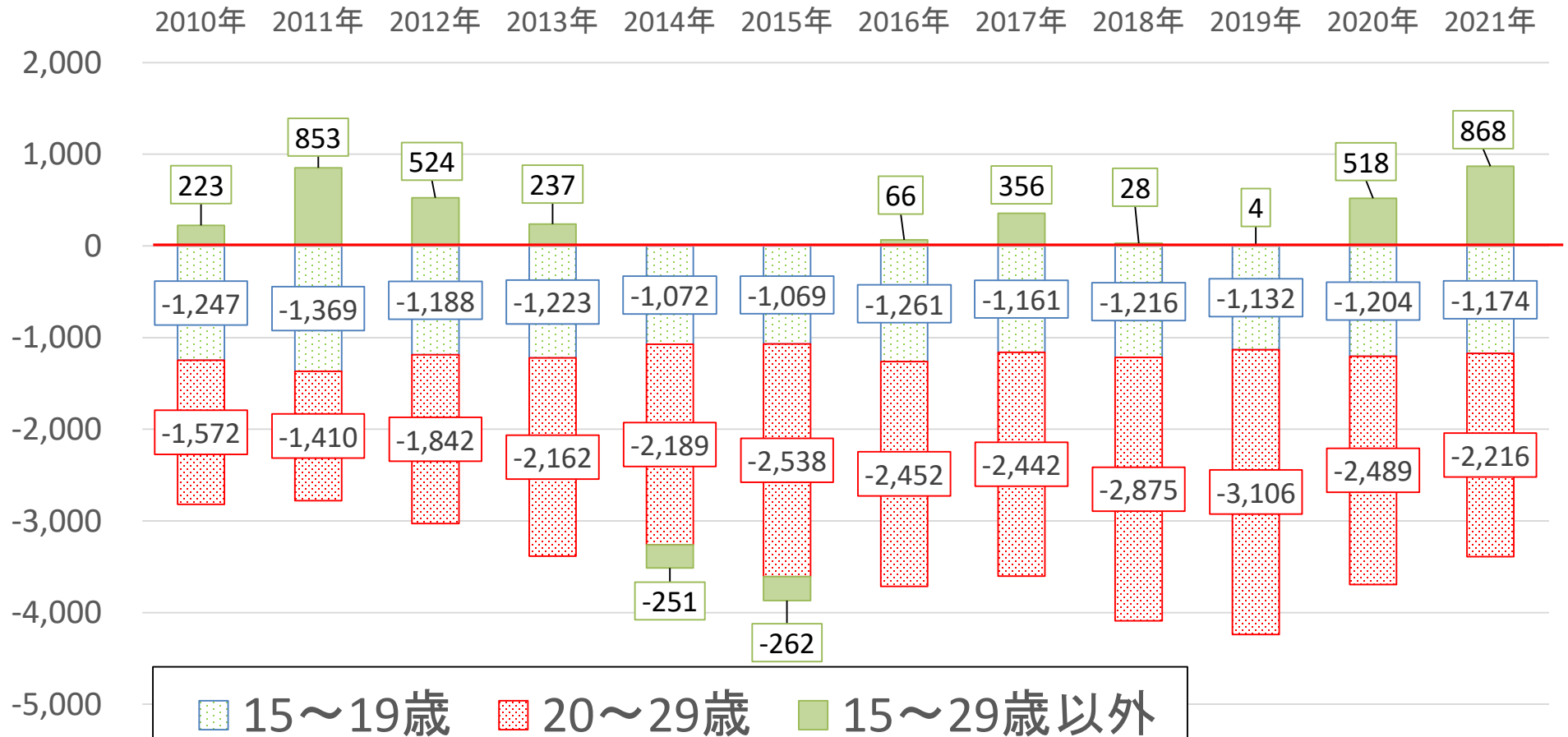


※ 国勢調査・人口動態統計を基に愛媛県が計算

3. 人口減少の現状

転出超過の大部分は、20代が占める

転出超過の世代分析



3. 人口減少の現状

男性の1.3～1.6倍、女性の転出超過となっている

転出超過
の性別分析

年	総数	女性	男性	女性／男性
2010	2,596	1,578	1,018	約1.6倍
2015	3,869	2,209	1,660	約1.3倍
2020	3,175	1,930	1,245	約1.6倍
2021	2,522	1,459	1,063	約1.4倍

○男性

年	転出	転入	転出／転入
2010	11,777	10,759	約1.1倍
2015	11,916	10,256	約1.2倍
2020	11,076	9,831	約1.1倍
2021	11,177	10,114	約1.1倍

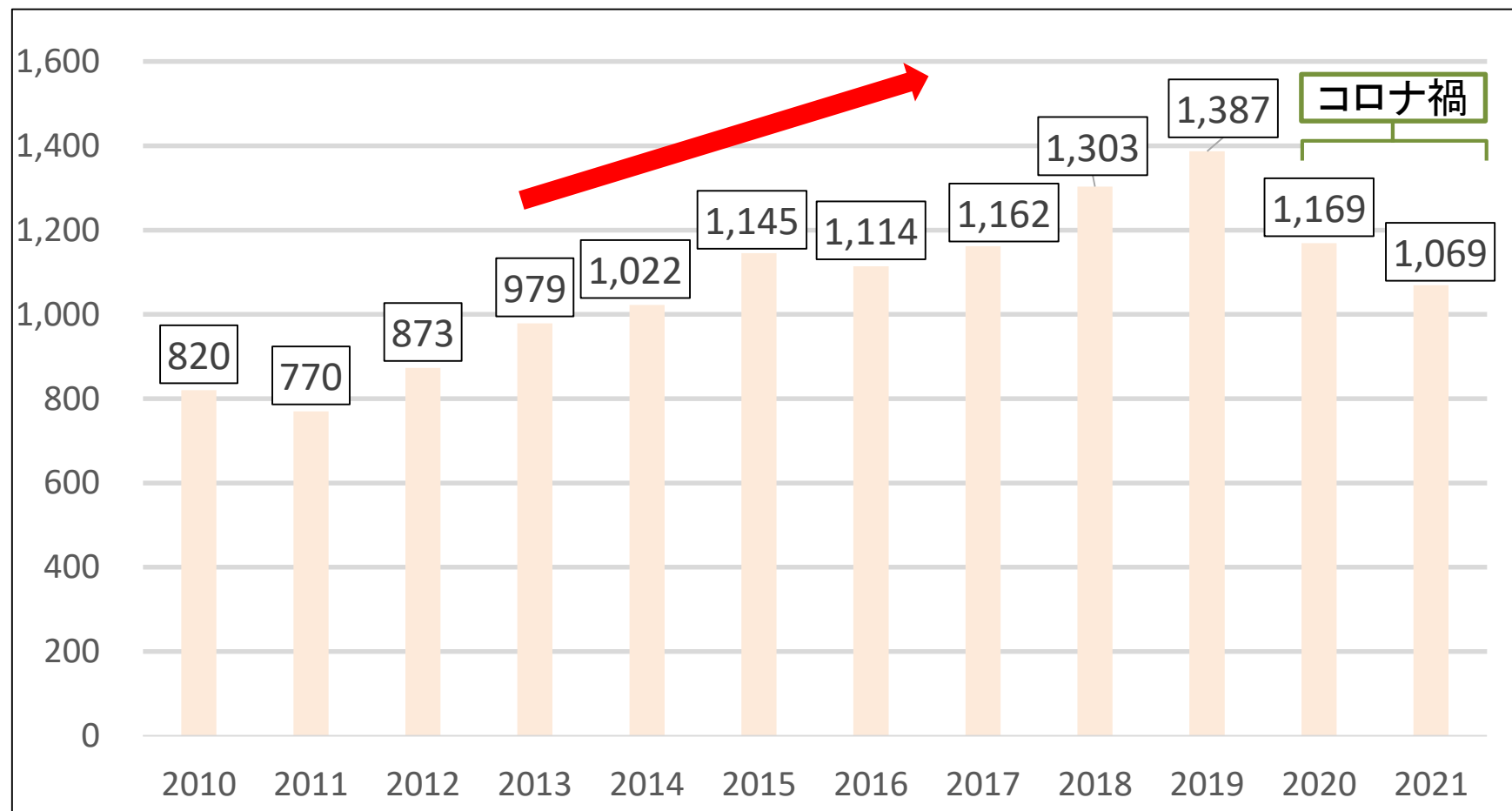
○女性

年	転出	転入	転出／転入
2010	9,581	8,003	約1.2倍
2015	9,679	7,470	約1.3倍
2020	8,848	6,918	約1.3倍
2021	8,712	7,253	約1.2倍

3. 人口減少の現状

転出超過が最も多い層は、20から24歳の女性

就職で県外へ出て、県内に戻ってこない

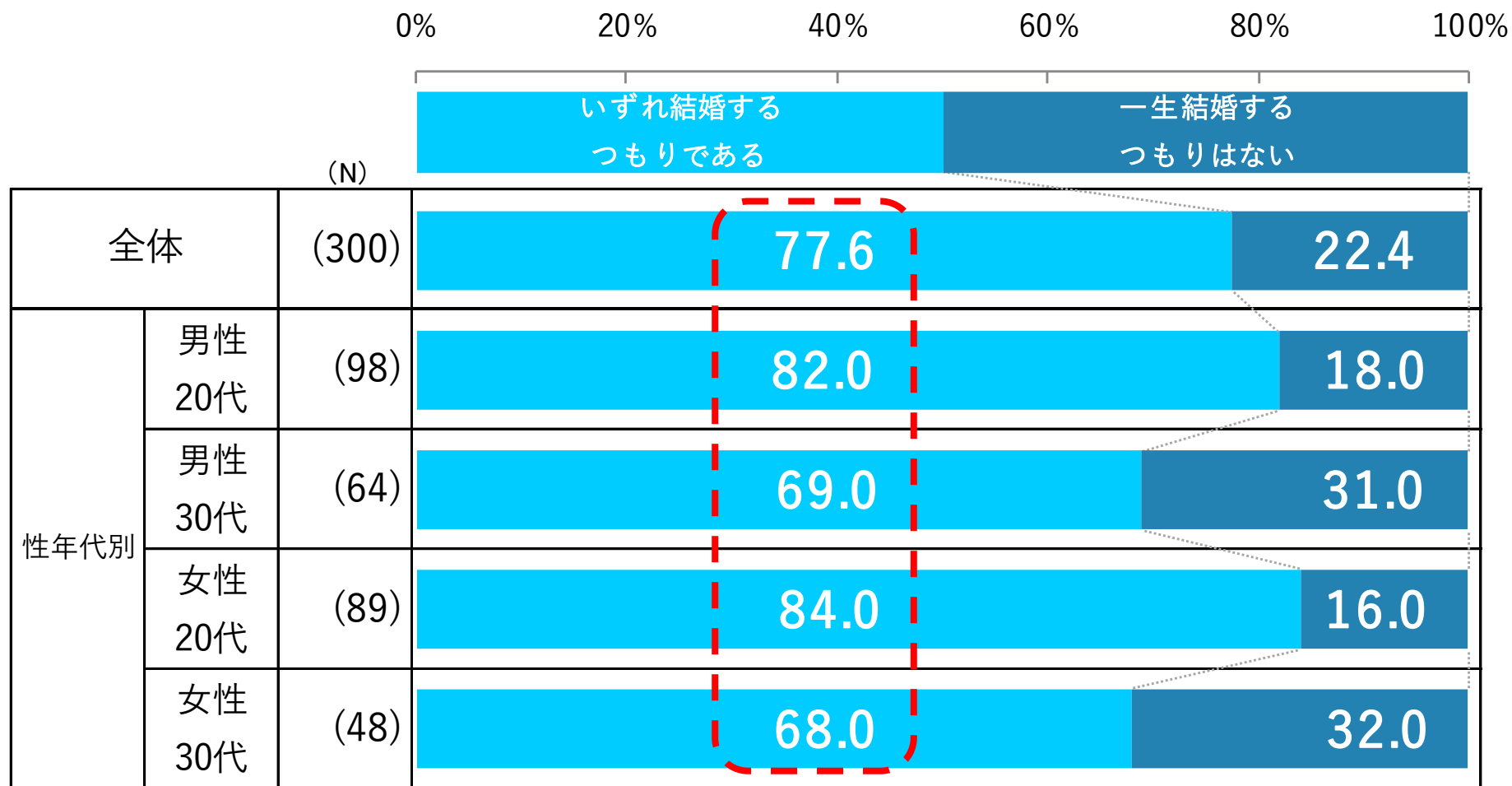


出典 住民基本台帳人口移動報告（日本人のみ抽出）

4. 結婚の希望等に関する調査

I 結婚に対する希望（年代）

- ・若い世代の約8割が結婚を希望（20代の8割、30代でも7割が結婚を希望）

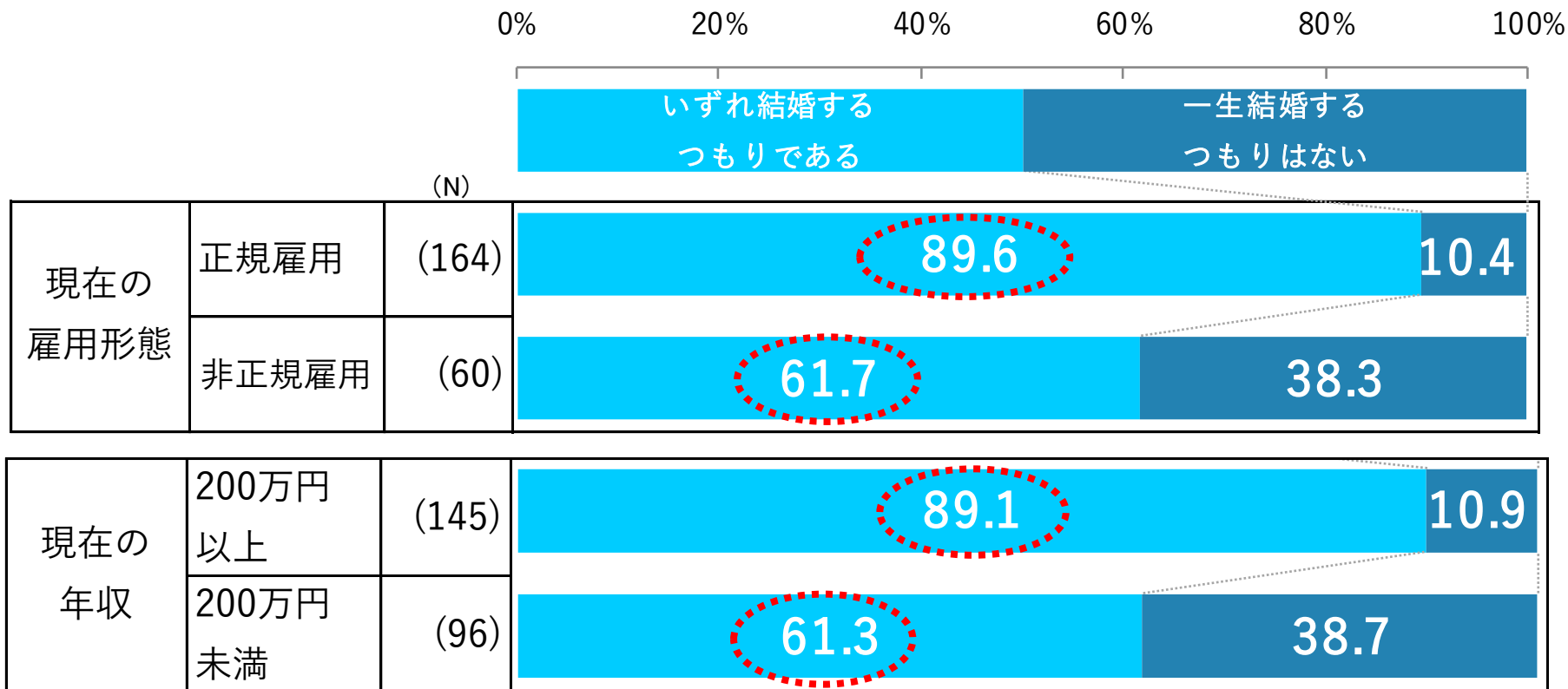


⇒若い世代の出会いの場の創出や結婚支援等による後押しが重要

4. 結婚の希望等に関する調査

II 結婚に対する希望（雇用形態・年収）

- ・雇用形態及び収入が結婚への意欲へ大きく影響

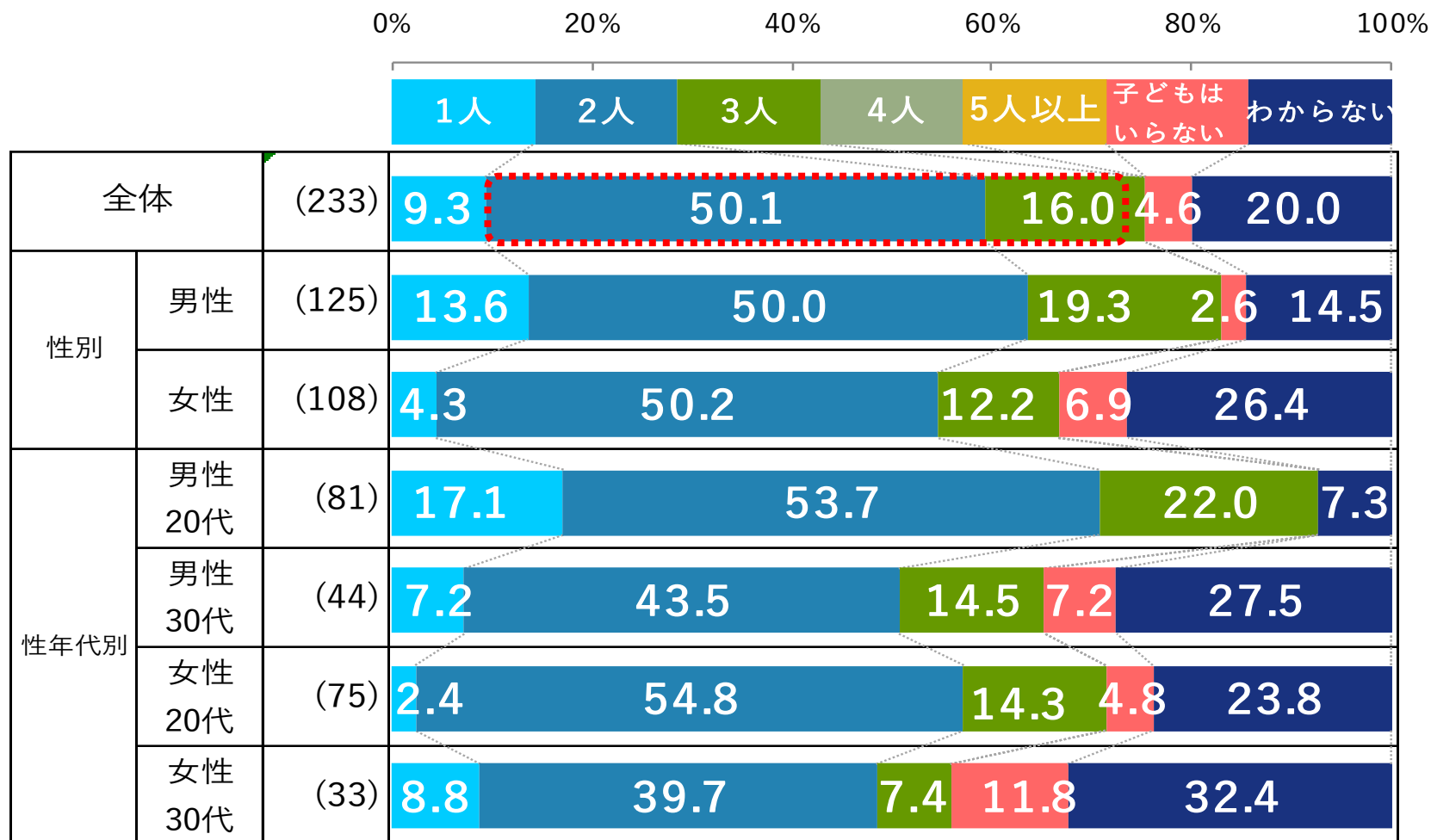


⇒正規雇用への転換や給与水準の引き上げなど、経済界を巻き込んだ議論が必要

4. 結婚の希望等に関する調査

Ⅲ 希望する子どもの人数

- 2人以上の子どもの希望する方の割合が多い（66.1%）

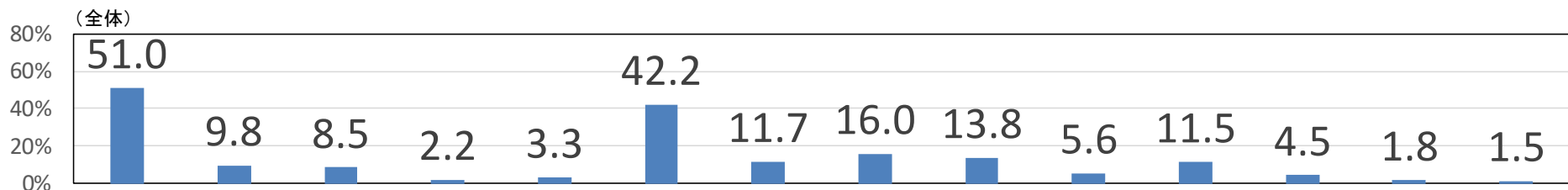


⇒希望する子どもの人数を叶えられるような支援が重要

5. 育児等に関する調査

I 理想の子ども人数を実現することが難しい理由

・経済的負担や年齢から理想の子ども人数を実現できない



	(N)	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	家が狭いから	自分の仕事に差し支えるから	子どもがのびのび育つ環境ではないから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	高齢での出産に不安があるから	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	健康上の理由から	望んでいるができないから	配偶者の家事・育児への協力が得られないから	配偶者が望まないから	末子が定年退職までに成人してほしいから	その他	わからない
全体	127	51.0	9.8	8.5	2.2	3.3	42.2	11.7	16.0	13.8	5.6	11.5	4.5	1.8	1.5
男性・30代	20	60.0	20.0	16.0	4.0	0	24.0	20.0	8.0	4.0	4.0	12.0	0	0	0
男性・40代	38	51.4	5.7	11.4	2.9	5.7	40.0	5.7	11.4	11.4	8.6	8.6	5.7	2.9	0
女性・30代	32	64.7	8.8	2.9	2.9	2.9	47.1	8.8	23.5	20.6	5.9	5.9	0	0	5.9
女性・40代	38	34.4	9.4	6.2	0	3.1	50.0	15.6	18.8	15.6	3.1	18.8	9.4	3.1	0

は全体より10ポイント、
は全体より10ポイント、

は全体より5ポイント以上高いセル
は全体より5ポイント以上低いセル

※赤字はベースがN=29以下のため参考値

⇒子育てに対する経済的負担の解消、

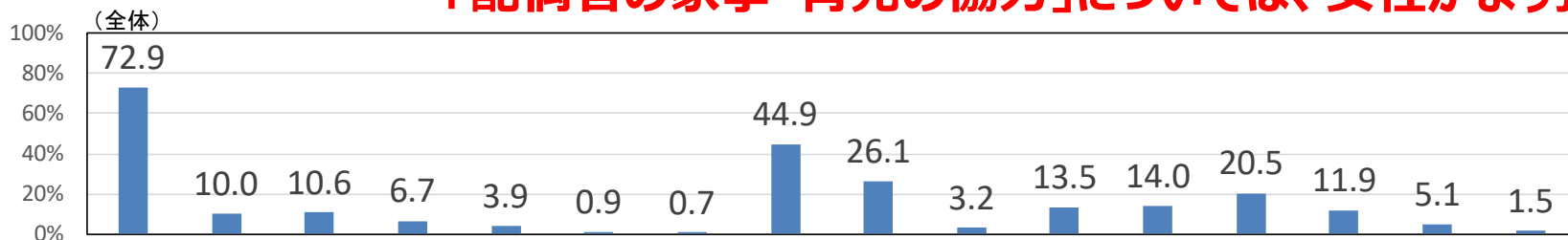
出産年齢を意識したライフデザインの啓発など妊娠・出産に関するリテラシーの向上、

妊娠を望む夫婦に対する不妊治療の支援 等が重要

5. 育児等に関する調査

Ⅱ 子どもを持つにあたって重視すること

- ・**出産にあたっては、男女ともに「女性の年齢」を重視する一方、「配偶者の家事・育児の協力」については、女性がより強く重視**



(N)	世帯収入が十分か	自分が正社員か	配偶者が正社員か	自分の会社の産休・育休制度がしっかりしているか	配偶者の会社の産休・育休制度がしっかりしているか	自分に転勤の可能性があるか	配偶者に転勤の可能性があるか	自分の年齢	配偶者の年齢	親の健康状態や介護	子の健康状態	住宅ローンや家賃の負担	教育費の負担	配偶者が家事・育児に協力的か	親(子どもからみた祖父母)のサポートを受けられるか	その他	
全体	400	72.9	10.0	10.6	6.7	3.9	0.9	0.7	44.9	26.1	3.2	13.5	14.0	20.5	11.9	5.1	1.5
男性	189	75.3	17.3	1.9	3.9	5.9	1.9	1.0	28.3	39.7	3.0	10.1	21.3	20.6	3.3	5.0	1.6
女性	211	70.8	3.4	18.4	9.3	2.1	0	0.4	59.8	13.9	3.4	16.6	7.4	20.4	19.6	5.1	1.4
男性・30代	81	77.0	15.0	3.0	5.0	7.0	3.0	1.0	18.0	34.0	3.0	13.0	27.0	24.0	5.0	5.0	1.0
男性・40代	108	74.0	19.0	1.0	3.0	5.0	1.0	1.0	36.0	44.0	3.0	8.0	17.0	18.0	2.0	5.0	2.0
女性・30代	93	77.0	4.0	15.0	11.0	1.0	0	1.0	57.0	10.0	4.0	16.0	8.0	21.0	23.0	4.0	2.0
女性・40代	118	66.0	3.0	21.0	8.0	3.0	0	0	62.0	17.0	3.0	17.0	7.0	20.0	17.0	6.0	1.0

 は全体より10ポイント、
 は全体より5ポイント以上高いセル
 は全体より10ポイント、
 は全体より5ポイント以上低いセル

5. 育児等に関する調査

Ⅲ 夫の平日1日当たりの家事・育児時間(平均)

※男性は自分、女性は夫の家事・育児時間を回答

・夫の家事・育児時間について、夫と妻の間には大きな意識の差がある

→男性の3割以上が平日に「1時間以上2時間未満」家事・育児をしていると回答しているが、
 そう思う女性は2割に届かず、夫の家事・育児時間は「30分未満」との回答が多い

0% 20% 40% 60% 80% 100%

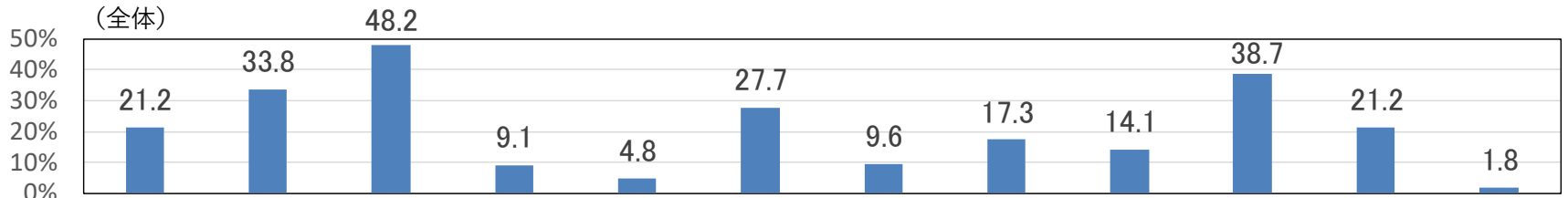


⇒夫の家事・育児を一層促すため、企業や職場を巻き込んだ育休等取得促進や働き方改革、家事・育児に対する意識醸成を図ることが重要

6. 就職・Uターンの希望等に関する調査

I 愛媛県内で起業・就業したい理由 (本県の大学に在籍している大学生 (以下、県内大学生))

・県内大学生は、近親者との繋がりや愛媛への思い入れを重視し、県内就職を希望



		(n)	希望する業種や職種の会社がある	自分に合った生活スタイル等を生かした生活がしたい	両親や友人等の近くで生活したい	両親や祖父母等が希望している	実家の事情	経済的に楽だから	自然が豊かだから	通勤が楽だから	生活環境が充実するから	愛媛が好きだから	愛媛の活性化に貢献したいから	その他
全体		(711)	21.2	33.8	48.2	9.1	4.8	27.7	9.6	17.3	14.1	38.7	21.2	1.8
性別	男性	(279)	25.8	37.6	35.5	6.5	5.0	26.9	9.7	18.6	14.3	39.4	19.0	2.2
	女性	(420)	17.9	31.7	56.4	10.7	4.8	28.1	9.8	16.2	13.8	37.9	22.9	1.7
	回答しない	(12)	33.3	16.7	58.3	16.7	0.0	33.3	0.0	25.0	16.7	50.0	16.7	0.0
出身地	県外	(69)	29.0	40.6	21.7	1.4	2.9	18.8	13.0	8.7	29.0	39.1	18.8	4.3
	県内	(642)	20.4	33.0	51.1	10.0	5.0	28.7	9.2	18.2	12.5	38.6	21.5	1.6
	東予	(122)	15.6	35.2	50.8	9.0	3.3	18.0	11.5	9.0	12.3	48.4	27.9	2.5
	中予	(429)	20.3	32.4	50.6	10.0	5.8	33.8	8.6	21.4	12.8	34.0	16.8	1.6
	南予	(91)	27.5	33.0	53.8	11.0	3.3	18.7	8.8	15.4	11.0	47.3	35.2	0.0
就職 起業	就職したい	(700)	21.1	33.3	48.7	9.1	4.7	28.0	9.4	17.4	14.0	38.7	21.4	1.9
	起業したい	(11)	27.3	63.6	18.2	9.1	9.1	9.1	18.2	9.1	18.2	36.4	9.1	0.0

 は全体より10ポイント、
 は全体より5ポイント以上高いセル
 は全体より10ポイント、
 は全体より5ポイント以上低いセル

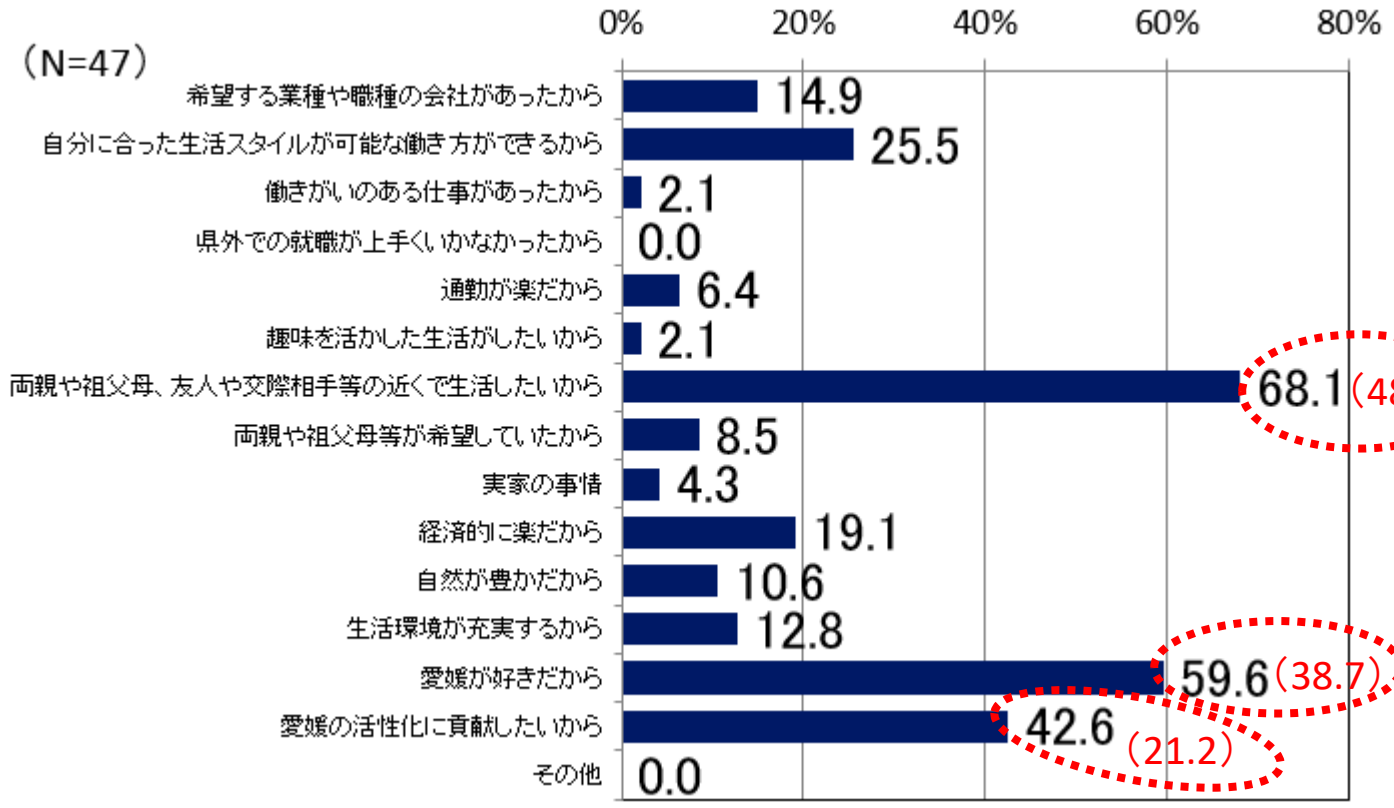
※赤字はベースがN=29以下のため参考値

6. 就職・Uターンの希望等に関する調査

II 愛媛県内で起業・就業したい理由 (本県出身で県外大学に進学した大学生 (以下、県外大学生))

・**県外大学生も、近親者との繋がりや愛媛への思い入れを重視し、県内就職を希望**
 →**県外大学生の方が、**

県内大学生よりも近親者との繋がりや愛媛への思い入れを重視



※()は、
 県内大学生対象のアンケート調査(就
 職の希望等に関するアンケート調査)
 で同様の質問をした際の回答割合

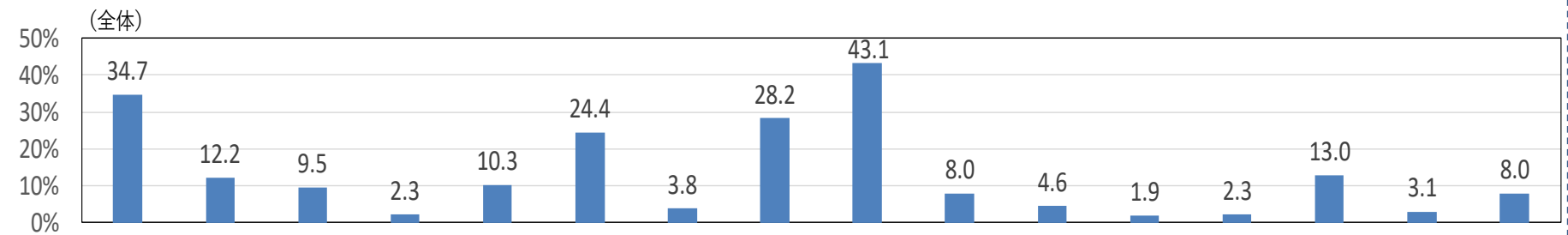
⇒県外進学後も愛媛の魅力発信など情報提供を行い、

愛媛への愛着やつながりを維持する関係性の構築が重要

6. 就職・Uターンの希望等に関する調査

Ⅲ 愛媛県外で起業・就業したい理由（県内大学生）

- ・県内大学生は、業種や職種を重視するとともに、都会へのあこがれから県外就職を希望
→ 都会へのあこがれとの回答は、女性で半数、全体でも4割を超える



		(n)	希望する業種や職種の仕事が少ない	愛媛の企業のことをあまり知らない	働きがいのある仕事や企業が少ない	安心して結婚等ができる環境が整った企業が少ない	キャリアアップできる企業が少ない	首都圏などと比べて年収が少ない	働き方など勤務環境が良くない	若者が楽しめる場所や施設が少ない	都会での生活にあこがれを感じる	自分らしさや個性を自由に表現しづらい	若者が少ない(出会いが少ない)	女性に対する偏見や差別意識が残っている	若者が活躍できる場や機会が少ない	煩わしい人間関係から離れたたい	家庭内の事情のため(親の希望等)	その他
全体		(262)	34.7	12.2	9.5	2.3	10.3	24.4	3.8	28.2	43.1	8.0	4.6	1.9	2.3	13.0	3.1	8.0
学年	1年生	(69)	31.9	20.3	8.7	1.4	10.1	26.1	2.9	31.9	43.5	7.2	1.4	0.0	0.0	7.2	1.4	5.8
	2年生	(64)	32.8	17.2	4.7	1.6	1.6	32.8	3.1	29.7	46.9	7.8	3.1	1.6	6.3	23.4	1.6	9.4
	3年生	(48)	35.4	8.3	14.6	2.1	4.2	14.6	0.0	31.3	45.8	8.3	8.3	2.1	2.1	10.4	2.1	8.3
	4年生以上	(81)	38.3	3.7	11.1	3.7	21.0	22.2	7.4	22.2	38.3	8.6	6.2	3.7	1.2	11.1	6.2	8.6
性別	男性	(98)	35.7	13.3	11.2	2.0	15.3	32.7	5.1	24.5	35.7	5.1	6.1	0.0	2.0	13.3	5.1	10.2
	女性	(159)	34.6	11.9	8.8	2.5	7.5	18.2	3.1	30.2	49.1	9.4	3.1	3.1	2.5	13.2	1.9	6.3
	回答しない	(5)	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0

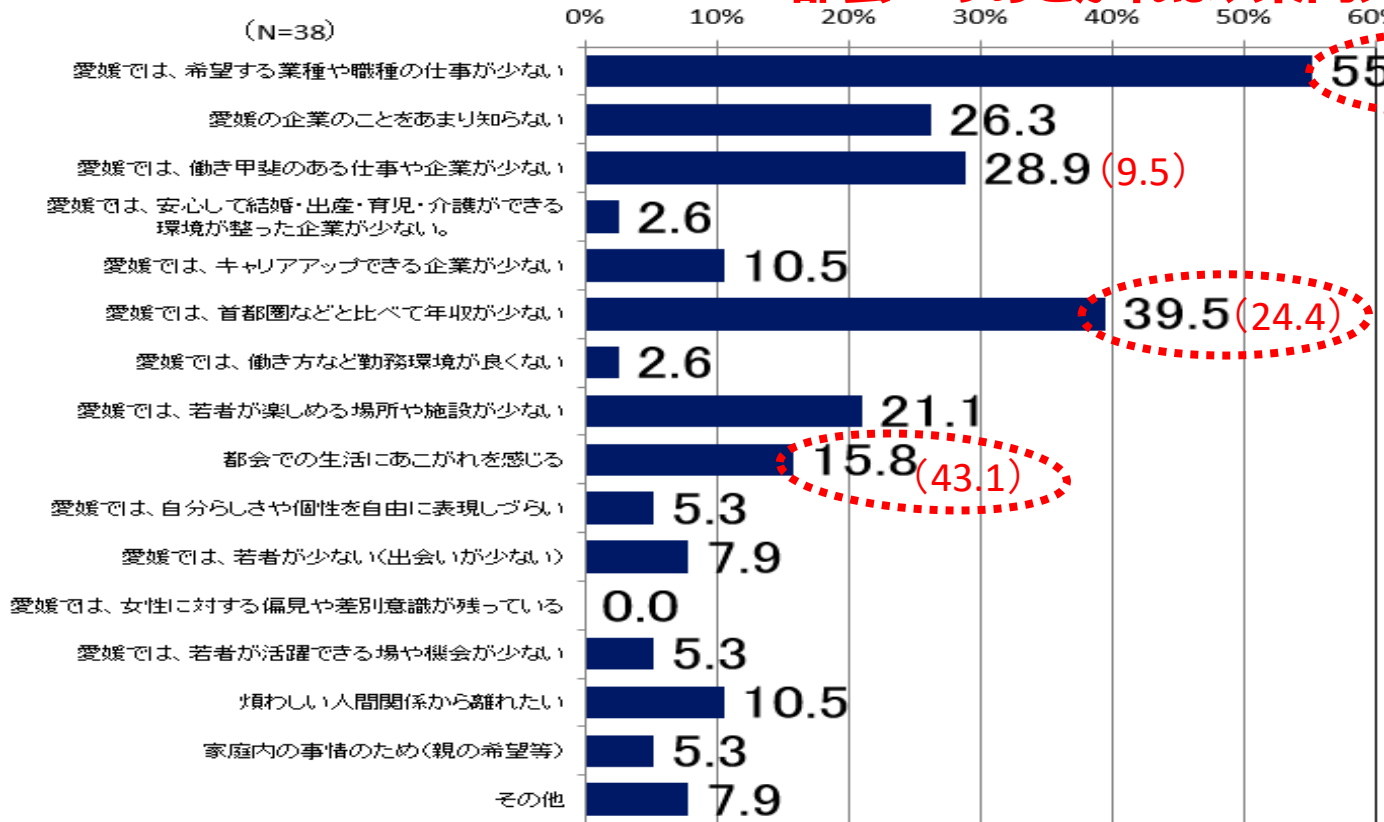
 は全体より10ポイント、
 は全体より5ポイント以上高いセル
 は全体より10ポイント、
 は全体より5ポイント以上低いセル

※赤字はベースがN=29以下のため参考値

6. 就職・Uターンの希望等に関する調査

IV 愛媛県外で起業・就業したい理由 (県外大学生)

- ・**県外大学生も、業種や職種を重視し、県内就職を希望**
- 県外大学生の方が、県内大学生よりも業種や職種を重視する一方、都会へのあこがれは、県内大学生に比べ低い**



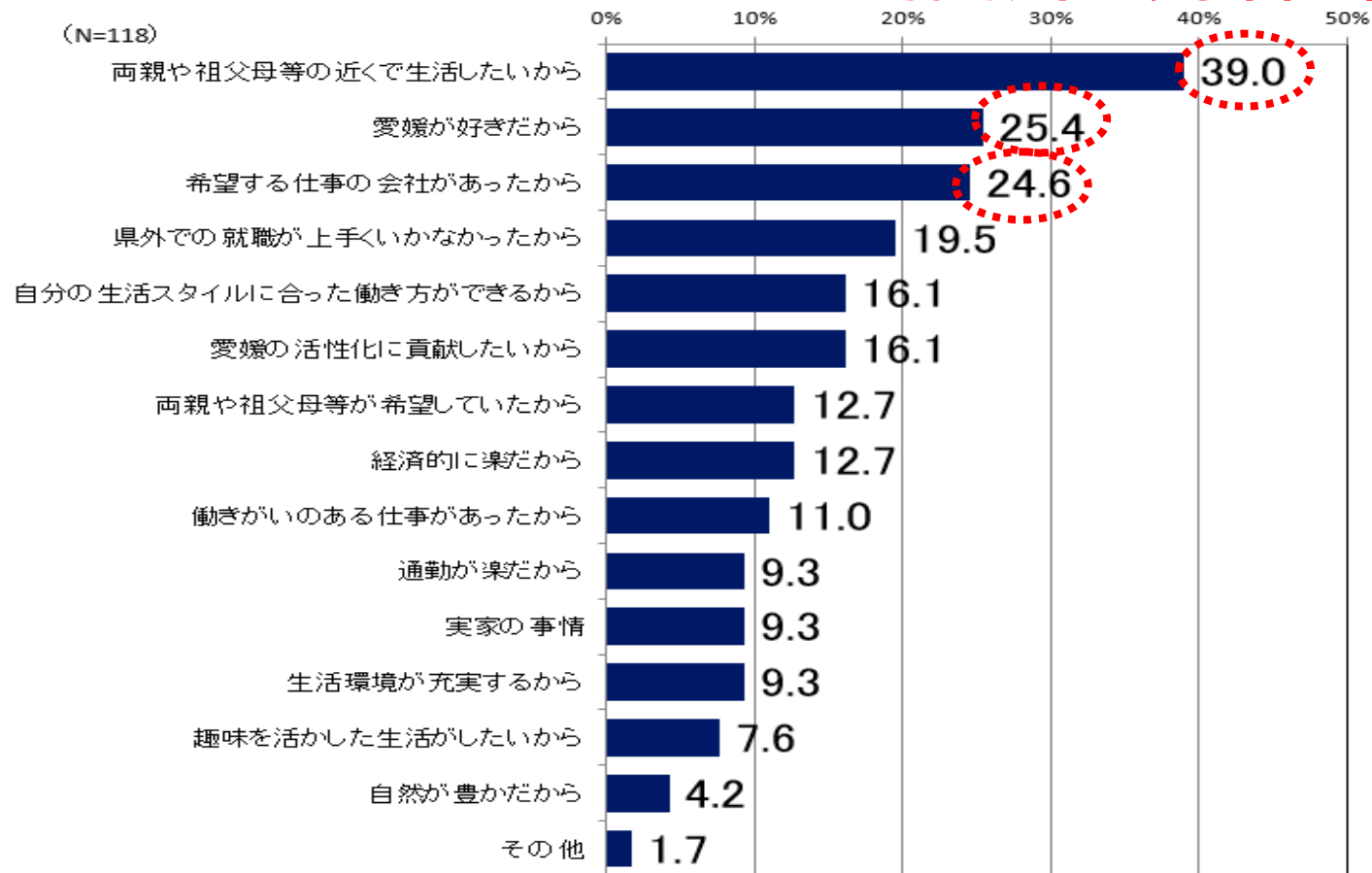
※()は、
県内大学生対象のアンケート調査(就職の希望等に関するアンケート調査)で同様の質問をした際の回答割合

⇒**大卒者に見合う業種・職種の県内での確保、スタートアップ支援など、若者がチャレンジできる環境の整備が必要**
若い世代が余暇を楽しめる場所・機会の拡充や愛媛の暮らしやすさのアピールが重要

7. Uターン等に関する調査

I 愛媛県内にUターン就職した理由

- ・**県外大学生の傾向と同様に、近親者との繋がりや愛媛への思い入れ、そして、希望する業種・職種の内容を重視**



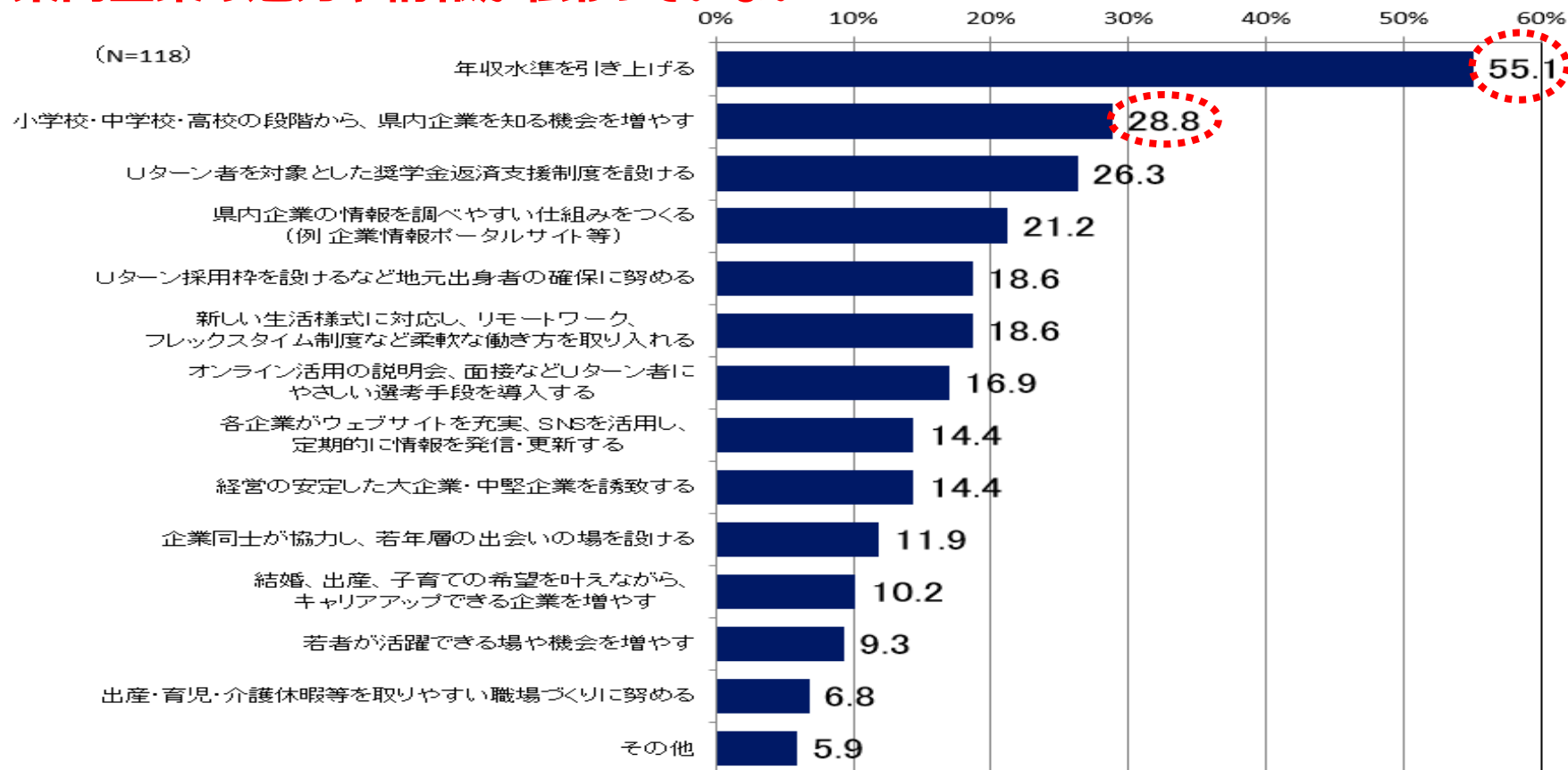
⇒県外進学後も愛媛県とつながりを維持する関係性の構築や、

大卒者が希望する業種・職種の県内での確保が重要 28

7. Uターン等に関する調査

II 愛媛県内へのUターン就職を増やすためにはどうしたらよいと思うか

- ・「年収を引き上げる」との回答が圧倒的に多く、Uターン就職者においても、
現水準以上の待遇を望んでいることが推測される
- ・県内企業の魅力や情報が伝わっていない



⇒県外企業と比較しても大きく見劣りすることがない給与水準や、

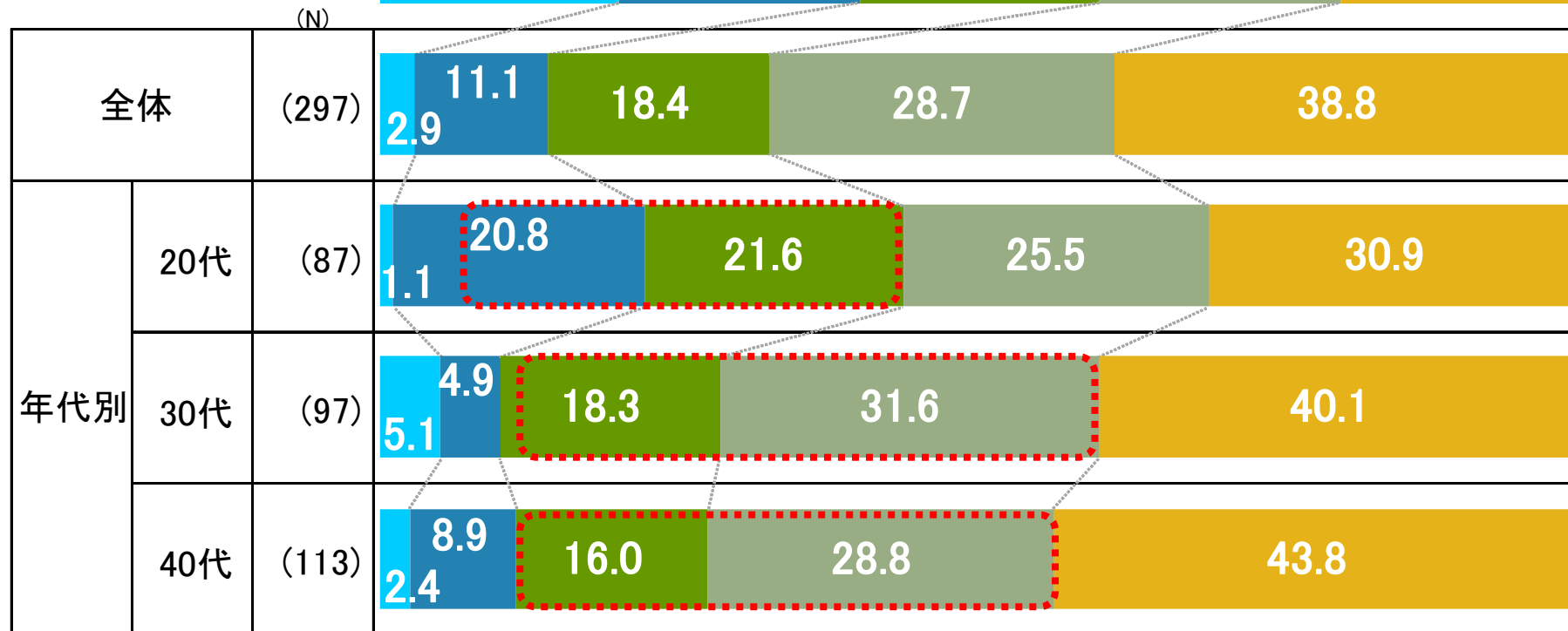
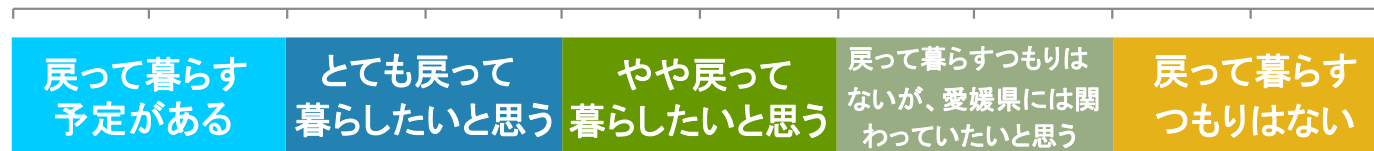
在学時における県内企業を知る機会の拡大など、県内企業の情報発信機能の強化が重要

8. 移住等に関する調査

I 愛媛県への移住意向

- 20代の4割は移住を希望
- 30代・40代でも半数以上は愛媛とのつながりを意識している

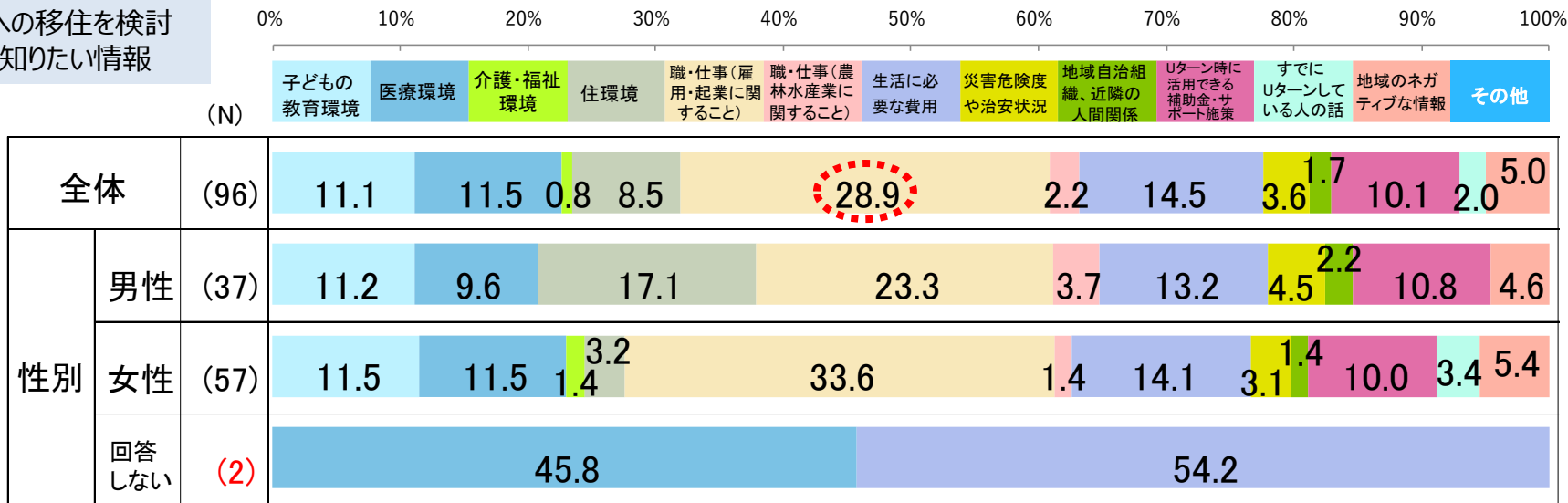
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



8. 移住等に関する調査

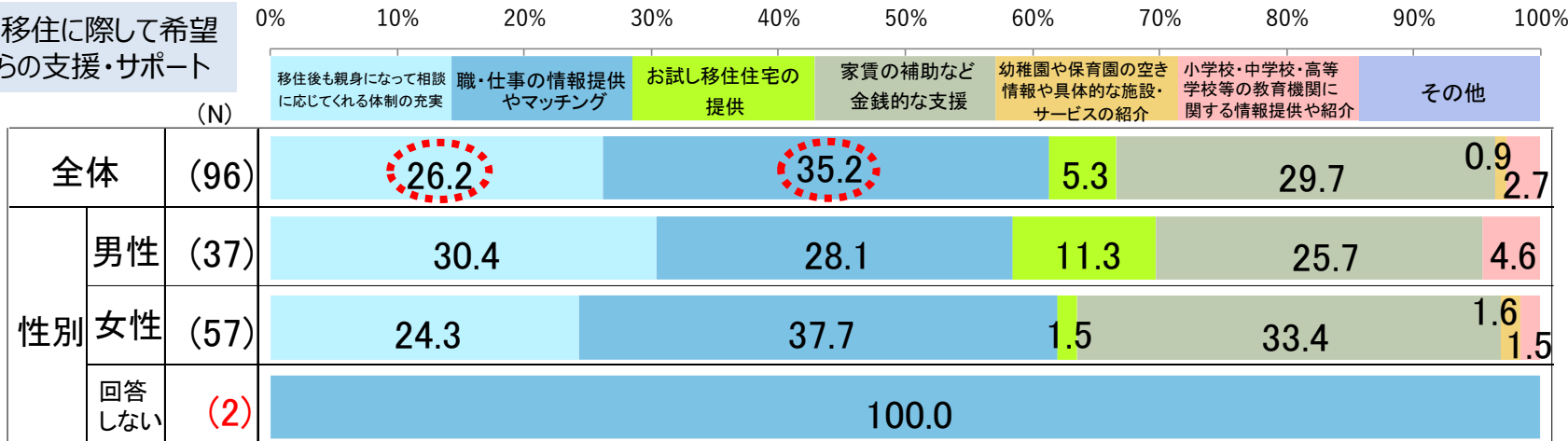
・移住には「職・仕事」の情報や支援が不可欠であるが、移住後の相談体制の充実も重視

II 愛媛県への移住を検討する際に知りたい情報



※赤字はベースがN=29以下のため参考値

III 愛媛県への移住に際して希望する行政からの支援・サポート



※赤字はベースがN=29以下のため参考値

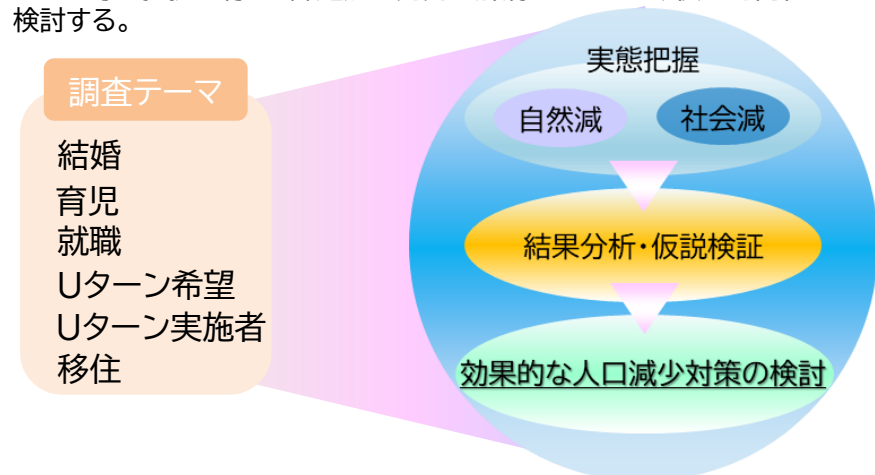
⇒20代をターゲットとし、「職・仕事」の情報提供や支援を備えたアプローチが効果的

移住後も相談体制の充実が求められており、移住者と地域コミュニティを結びつける仕組みづくりにも配慮が必要

9. 人口減少の要因分析に関する調査概要

※愛媛県・一般財団法人地方自治研究機構 実施

各テーマの対象者に対し、アンケート調査を実施することで、現状及びニーズ等の把握を行い、課題点の発見と解消につなげ、今後の方向性を検討する。



アンケート種類	自然減対策	
	① 結婚の希望等	② 育児等
対象者	愛媛県在住の20代～30代未婚者	愛媛県在住の30代～40代既婚者
有効回収数	300件	400件
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> 基本情報 結婚に対する意識について 交際や出会いに対する意識・行動について 結婚後の出産、家事・育児、働き方等に対する意識について えひめ結婚支援センターについて 男性の育児休業等取得に対する意識について 	<ul style="list-style-type: none"> 基本情報 出産に対する意識について 出産前後の就業状況について 育児について 男性の育児休業等取得に対する意識について
調査手法	アンケート調査会社のモニターを対象としたインターネット調査を実施	
実施時期	令和4年7月8日～13日	

アンケート種類	社会減対策			
	③ 就職の希望等	④ Uターンの希望等	⑤ Uターン等	⑥ 移住等
対象者	松山大学、愛媛大学、松山東雲女子大学、聖カトリナ大学に在籍している大学生【県内大学生】	愛媛県出身で、愛媛県外の大学に進学した大学生【県外大学生】	愛媛県出身で、愛媛県外の大学等に進学後、新卒で愛媛県内企業にUターン就職した20代社会人	愛媛県出身で、首都圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）または関西圏（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県）在住の20代～40代
有効回収数	1,400件	85件	118件	297件
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> 基本情報 就職先の希望について 就職活動の状況について 愛媛県内での起業について 愛媛県外での就職・起業理由について 愛媛県に対するイメージ等について 就職先企業を選択する際の意識について 男性の育児休業等取得に対する意識について 	<ul style="list-style-type: none"> 基本情報 就職先の希望について Uターン就職活動の状況等について 愛媛県外での就職、起業理由、Uターン意向について 愛媛県に対するイメージ等について 就職先企業を選択する際の意識について 男性の育児休業等取得に対する意識について 	<ul style="list-style-type: none"> 基本情報 愛媛県内企業へのUターン就職について 男性の育児休業等取得に対する意識について 	<ul style="list-style-type: none"> 基本情報 愛媛県への移住に関する意識について 愛媛県に対するイメージ等について 学校教育における愛媛県内企業・産業や地域活動等の学習体験機会について 男性の育児休業等取得に対する意識について
調査手法	県内の大学に通う県内大学生を対象としたアンケート調査を実施（Web）	ジョブカフェ愛work、愛媛県人寮、県外大学を通じ、県外大学進学者を対象としたアンケート調査を実施（Web）	ジョブカフェ愛workに登録している企業等を通じ、Uターン就職した従業員を対象としたアンケート調査を実施（Web）	アンケート調査会社のモニターを対象としたインターネット調査を実施
実施時期	令和4年6月20日～7月8日	令和4年6月20日～7月1日	令和4年6月15日～7月15日	令和4年7月8日～15日